

A

千葉県立美術館

年報

NO.28

R

CHIIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
April 2001-March 2002



目 次

ごあいさつ	1
沿 革	2
平成13年度主要記事	4
展示事業	5
収蔵作品による企画展	6
特 別 展	20
企 画 展	26
普及事業	32
美術講演会・ミュージアムコンサート・実技講座	33
こどもアートチャレンジ・学校巡回展	34
一日学芸員体験学習・こどもワークショップ	35
情報資料室	36
美術めぐりの旅・活動協力・博物館実習	37
さわやかちば県民プラザ・神崎青年の家連携事業	38
ポートパーク・県民の日・生涯学習フェスティバル	
貸出資料一覧	39
調査・収集事業	40
収蔵資料一覧	41
管理運営・運営方針	43
機 構	44
平成13年度職員・協議会委員・利用状況	45
展示室利用団体	47
施 設	49
関係法令等	53
利用案内	54

目 次

1	てちひあこ
2	年 会
4	本編 東北 2012 年
7	巻頭 総論
9	本編 東北 2012 年
20	年 会
26	年 会
32	巻頭 総論
33	本編 東北 2012 年
34	本編 東北 2012 年
37	本編 東北 2012 年
38	本編 東北 2012 年
41	本編 東北 2012 年
43	本編 東北 2012 年
44	本編 東北 2012 年
45	本編 東北 2012 年
47	本編 東北 2012 年
49	本編 東北 2012 年
53	本編 東北 2012 年
54	本編 東北 2012 年

ごあいさつ

平成13年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。
本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、
県民のさまざまな美術に対する要望にこたえるよう努めてまいりました。

平成13年度は、特別展として、「ジャポニスム展」を開催し、アメリカのジェ
ーン・ヴァーヒーズ・ジマーリ美術館の所蔵作品の中から、版画、水彩画、パステ
ル画、油彩画など約170点を展示し、日本文化が西洋文化に与えた影響の一端を
ご紹介しました。また、企画展としては、「石井康治展」、「こどものための展
覧会」「触れる美術展」を開催しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品によ
る企画展を開催したほか、県内2地域において移動美術館を実施しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に
関連づけて美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動
に対する理解を深めてもらうため、「こどもワークショップ」、「一日学芸員体
験学習」、「学校巡回展」を開催しました。また、美術の各分野にわたる実技講
座を実施し、ますます高まっている県民の美術創作への意欲にこたえてまいりま
した。

作品の収集にあたっては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の協力を得な
がら、コレクションの体系化とその充実化を図りました。今後とも、関係諸機関
や各団体をはじめ、県民の皆様方の御指導と御支援をお願いいたします。

平成14年9月

千葉県立美術館長

中村 哲

沿 革

千葉県立美術館は、昭和43年にまとめられた県立博物館設置構想に基づき建設計画をすすめ、昭和48年4月教育庁文化課に美術館準備室を置き、開館事務に当たった。同49年3月第1期工事の展示棟が完成し、4月1日千葉県立美術館として機関設置し、10月23日開館式を挙げ、一般公開を始めた。同51年に第2期工事の管理棟が、同55年2月に第3期工事の県民アトリエ棟、更に同63年8月の増築工事で展示棟及び収蔵庫が完成した。

昭和44年12月9日 第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）

昭和45年1月19日 県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決

昭和45年7月24日 建設地として千葉公園に内定

昭和45年11月12日 第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）

昭和46年3月31日 千葉公園内の美術館基本構想成立

昭和46年6月24日 体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示

昭和47年1月5日 建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換

昭和47年3月31日 基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）

昭和47年7月31日 展示棟第1期工事の実施設計完了

昭和47年9月21日 展示棟杭打工事着工

昭和47年10月13日 展示棟建築工事請負契約議案可決

昭和47年12月10日 展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）

昭和48年4月1日 文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始

昭和48年11月30日 管理棟（第2期工事）の実施設計完了

昭和49年3月31日 展示棟竣工

昭和49年4月1日 千葉県立美術館発足（職員14名）

昭和49年10月23日 開館記念式典開催

昭和49年10月24日 開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始

昭和50年2月21日 管理棟杭打工事着工

昭和50年3月13日 管理棟建築工事請負契約議案可決

昭和50年3月16日 管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）

昭和51年2月20日 管理棟竣工

昭和51年3月2日 管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催

昭和51年6月7日 寄付によって、正面玄関植栽

昭和52年3月12日 彫刻の野外展示開始

昭和52年4月10日 展示棟の一室に美術普及室を開設

昭和53年1月18日 外構工事として、駐車場拡張（97台）

昭和53年2月21日 美術普及棟の準備会発足

昭和53年10月17日 美術普及棟建築予算を計上

昭和53年11月18日 浅井忠像完成除幕式

昭和53年11月30日 美術普及棟実施設計完了

昭和54年1月8日 美術普及棟を県民アトリエ棟と改称

昭和54年3月5日 県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決

昭和54年3月22日 県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）

昭和55年2月29日 県民アトリエ棟竣工

昭和55年3月16日 県民アトリエ棟完成記念講演会

昭和55年4月1日 千葉県美術品取得基金条例施行

昭和55年9月9日 県民アトリエ棟情報資料室開設

昭和58年7月29日 美術普及コーナー開設

昭和58年11月12日 開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立

昭和61年3月25日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工設計予算化

昭和61年4月10日 入口門扉4ヶ所設置

昭和61年4月23日 美術館西側沿道寄り生垣植栽

昭和61年8月12日 講堂浸水防止工事完了

昭和62年3月25日 機械室増築基本設計及び展示

	棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了	平成14年 3月25日	屋根材剥落補修工事(第6展示室)完了
昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	平成14年 3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
昭和63年 5月20日	受水槽設備改修工事(地上式)着工	平成14年 3月25日	防犯カメラ改修工事完了
昭和63年 8月31日	受水槽設備改修工事(地上式)完了		
昭和63年 8月31日	展示棟(第8展示室)、収蔵庫(第3、4室)、機械室増築工事完了		
平成元年 2月28日	増築展示棟周辺芝張工事完了		
平成元年 4月 1日	普及課が新設され、3課で業務実施		
平成元年 4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催		
平成元年 9月11日	空調機改修工事実施設計完了		
平成 2年 6月 8日	空調機改修工事完了		
平成 2年 9月29日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工		
平成 2年11月 7日	室内標識改修工事着工		
平成 3年 1月31日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了		
平成 3年 2月20日	室内標識改修工事完了		
平成 3年12月 6日	空調用ポンプ改修工事完了		
平成 4年 4月 1日	運営の一部が(財)千葉県社会教育施設管理財団へ委託		
平成 4年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了		
平成 4年12月18日	食堂改修工事完了		
平成 6年 7月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催		
平成10年 2月23日	ガス設備改修工事完了		
平成10年12月24日	空調設備改修工事完了		
平成11年 6月 5日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催		
平成12年 3月30日	屋根材剥落補修工事完了 点字ブロック設置工事完了		
平成12年 7月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託		
平成13年 3月29日	屋根材剥落補修工事(第7展示室)完了		

平成13年度主要記事

- 4月 1日 収蔵作品による企画展 「版画のメッセージ」 (5月6日まで)
- 4月 1日 収蔵作品による企画展 「房総と近代美術」
「新収蔵作品展」 (6月1日まで)
- 6月 9日 特別展「ジャポニスム展—世紀末から西洋の中の日本—」 (7月15日まで)
- 5月16日 陶芸講座 (6月28日まで 日数6日)
- 5月26日 第1回こどもワークショップ
- 6月23日 美術講演会
- 7月 7日 ミュージアムコンサート
- 7月19日 彫刻講座 (8月1日まで 日数10日)
- 7月21日 企画展「こどものための展覧会2001」
常設収蔵作品展 「浅井忠とその周辺」
「炎の造形—陶芸—」 (9月2日まで)
- 8月 2日 博物館実習 (8月8日まで 日数6日)
- 8月 4日 第2回こどもワークショップ
- 9月 8日 収蔵作品による企画展 「創るそして語る」 (10月8日まで)
- 9月18日 企画展「触れる美術展」 (9月28日まで)
- 10月16日～11月15日 学校巡回展
- 10月17日 版画講座 (11月1日まで 日数10日)
- 10月21日 スポーツと美 こどもアートチャレンジ
- 11月13日 企画展「第25回千葉県移動美術館」 (11月25日まで)
- 11月18日 「スポーツと美 こどもアートチャレンジ作品展」 (12月2日まで)
- 11月10日 収蔵作品による企画展 「フォントナーとバルビゾン派」 (1月27日まで)
- 11月21日 美術めぐりの旅
- 11月24日 企画展「石井康治展—ガラスが魅せる 詩・季・彩—」 (1月27日まで)
- 11月28日 企画展「第25回千葉県移動美術館」 (さんぶの森文化ホール12月11日まで)
- 12月 8日 第3回こどもワークショップ
- 12月15日 収蔵作品による企画展 「抽象彫刻の試み」 (4月14日まで)
- 1月24日 金工講座 (2月7日まで 日数10日)
- 2月 2日 収蔵作品による企画展 「眼差しの行方—人物表現—」
「石井雙石の篆刻」 (3月24日まで)
「金工作品の魅力」 (4月14日まで)
- 2月20日 篆刻講座 (2月28日まで 日数6日)

展 示 事 業

収蔵作品による企画展は、「新収蔵作品展」「版画のメッセージ」「房総と近代美術」「浅井忠とその周辺」「炎の造形-陶芸」「創る そして語る」「フォンタネージとバルビゾン派」「抽象彫刻の試み」「金工作品の魅力」「眼差しの行方」「石井雙石の篆刻」を開催した。

特別展としては、「ジャポニスム展」を開催した。

また、企画展として「こどものための展覧会2001」「触れる美術展」「石井康治展」「第25回千葉県移動美術館」を開催した。その他、「アジアの民俗画展」を開催した。

1985	Life again stone II	木田 文司	1				
1986	Glass&water	"	2				
1987	Paper entwined in wood	"	3				
"	Life again leaves	"	4				
1988	Leaves entwined in wood	"	5	◆	1973	響つる	6
1989	Paintment	"	6	◆			<洋画>
"	Paper entwined in wood 891	"	7	◆	1971	印度洋土	7
"	Paper entwined in wood 892	"	8	◆	1968	文の森のしづ	8
1991	魚魚全	"	9	◆	"	(魚)の魚	9
1992	魚魚全のてい	"			"	会録	10
"	雨あがる	"	10	◆	1979	自画像	10
1996	雲	"	11	◆	1981	おんじり	11
"	静寂の閑	"	12	◆	1984	魚	12
"	静物・さくら	"	13	◇	1986	二つの橋	13
"	知宮の白鳥	"	14	◇	1988	香工の場	14
1996	茶の湯のてい	"	15	◇	1978	卓の上の文	15
1997	茶の湯のてい	"	16	◇	1986	林梢	16
"	ヒヨコカマド	"	17	◇	1983	ハリネズミのてい	17
"	草むらさ	"	18	◇	1971	藤の道	18
1998	藤と文楽 II	"	19	◇			<工芸>
1999	関	"	20	◇	1988	喜心	1
"	風	"	21	◇	1987	藤の道	2
"	白福きりぎりす	"	22	◇	1980	藤の道	3
"	藤と静寂	"	23	◇			<書>
"	松虫針	"	24	◇	1988	藤の道	1
不詳	川口風景	水野 千金	25	◆	不詳	かの子のてい	2
"	林谷	"	26	◆	1975	藤の道	3
"	谷口大	"	27	◆	1991	藤の道	4

「新収蔵作品展」

平成12年度に新たに収蔵した水彩画、日本画、洋画の作品及び研究資料を紹介した。

会 期 平成13年4月1日(日)～6月1日(金) 51日間

会 場 第1、2展示室

展示点数 66点

入場者数 18,430人

<日本画>

1	時田 直善	翻/三郎作(櫛、鳴き、切り)	1937
2	"	望洋	1939
3	西村 昭二郎	うずくさせいらん	1964
4	"	草の鳥	1967
5	"	鴨わたる	1973

<洋画>

1	石井 柏亭	印度洋上	1911
2	遠藤 健郎	バリの森の女達	1998
3	"	ケチャックの踊り(バリ島)	"
4	国松 伽耶	教会	"
5	"	自画像	1949
6	"	おんどり	1951
7	"	魚	1954
8	"	二つの椅子	1956
9	"	青い工場	1958
10	富田 通雄	卓による女	1948
11	"	林梢	1956
12	"	パリモンマルトルの丘	1963
13	山本 不二夫	赫い道	1971

<工芸>

1	津田 永寿	喜心	1998
2	土肥 刀泉	辰砂菊花花瓶	1987
3	山本 正年	釉彩彫文飾皿兼盛皿	1950頃

<書>

1	揚石 舒雁	変奏二種	1998
2	千代倉 桜舟	かの子のうた	不詳
3	"	心平英文詩	1975
4	"	左近の詩	1994

<版画>

1	生田 宏司	Life again stone II	1985
◆ 2	"	Glass&water	1986
◆ 3	"	Paper entwined in wood	1987
◆ 4	"	Life again Leaves	"
◆ 5	"	Leaves entwined in wood	1988
◆ 6	"	Entwinement	1989
◆ 7	"	Paper entwined in wood 891	"
◆ 8	"	Paper entwined in wood 892	"
◆ 9	"	金魚鉢	1991
"	"	もう一つの金魚鉢	1992
◆ 10	"	雨がえる	"
◆ 11	"	桜	1995
◆ 12	"	静寂の間	"
◇ 13	"	ざくろ・静物	"
◇ 14	"	仙宮の白梟	"
◇ 15	"	朝摘みの花だいこん	1996
◇ 16	"	二羽の子梟	1997
◇ 17	"	コタンコルカムイ	"
◇ 18	"	しろつめ草	"
◇ 19	"	猫と夜猫子 II	1998
◇ 20	"	花園	1999
◇ 21	"	風	"
◇ 22	"	白福老滝図	"
◇ 23	"	猫と猫頭鷹	"
◇ 24	"	松虫草	"
◆ 25	金子 周次	川口風景	不詳
◆ 26	"	松林	"
◆ 27	"	犬吠灯台	"

◆28	金子 周次	石垣の家・外川	1968	36	ヘレン・ハイド	雨の夜	1906
◆29	"	犬若浦釣手晩家	不詳	37	"	家路	1907
◆30	"	宵待草	"	38	"	東京の元旦	1914
◆31	"	物見梯子のある風景	"	◇39	利渉 重雄	光の息	1991
◇32	多賀 新	瞳<ユニコーン>	2000	◇40	"	昂への旅	1998
◇33	"	スフィンクス<土方巽氏に捧ぐ>	"				
◇34	野田 哲也	Diary: Aug. 9th '81 to Nakatsugawa	1981	<研究資料>			
35	"	Diary: May. 7th '86 in Kara	1986	1	富取 風堂	スケッチブック類	

◆ =前期のみ展示 ◇ =後期のみ展示

「版画のメッセージ」

スペインの画家タピエスに捧げた作品、文学者西脇順三郎の詩や、詩人ボードレールの「悪の華」、ダンテの「神曲・地獄篇」など、詩集をモチーフとした作品をはじめ、現代や過去の事件を題材とした作品など、メッセージが感じられる版画作品を取り上げて紹介した。

会 期 平成 13 年 4 月 1 日 (日) ~ 5 月 6 日 (日) 29 日間
 会 場 第 3 展示室
 展示点数 44 点
 入場者数 8,781 人

1	池田 良二	Martin	1979	ダンテ詩集「神曲」〈地獄篇〉より
2	〃	Scattered Seeds	〃	24 深沢 幸雄 ブルネット・ラティーン 1956
3	〃	Together again	〃	25 〃 チェルベロ 1957
4	〃	Varanasi	1980	「銅版画集『ボードレール詩集悪の華より』」
5	〃	Leaves	〃	26 深沢 幸雄 1) 憂鬱 1971
6	〃	Tristeza	〃	27 〃 2) 猫 〃
7	〃	Lack	〃	28 〃 3) 人と海 〃
8	〃	Nobody Knows my mind	1981	29 〃 4) 楽しそうな死者 〃
「トラベラーズ・ジョイ」				30 〃 5) 月の悲しみ 〃
9	池田 満寿夫	1) アウグストスに寄せて	1973	31 〃 6) 假面 〃
10	〃	2) くずれた土	〃	32 浜口 陽三 パリの屋根 1956
11	〃	3) 蒼白なる真珠色	〃	33 〃 赤いパイプ 1971
12	〃	4) 枯れたすげ	〃	34 〃 26 のさくらんぼ 〃
13	〃	5) メラグレーナ	〃	35 〃 赤い鉢 〃
14	〃	6) 春雷	〃	36 〃 さくらんぼと青い鉢 1976
15	〃	7) 拋物線	〃	37 〃 二匹の蝶 1977
16	〃	8) 胚種 (または木の芽時)	〃	38 〃 8 つのくるみ 〃
17	〃	9) 花をつけた灯心草	〃	39 〃 緑の糸糸 1981
18	深沢 幸雄	繫縛	1959	40 〃 22 のさくらんぼ 1988
19	〃	刻印	1964	41 増田 陽一 森の生活 1993
20	〃	洞窟	1966	42 〃 植物の窓 1994
21	〃	影 (メヒコ) A	1974	43 〃 すみれ色の謎 1995
22	〃	掌の中の影	1976	44 山下 哲郎 TRAVEL-12 1996
23	〃	アシェンダの地下にて	1980	

「房総と近代美術」

収蔵作品の中から、日頃展示の要望の高い作品などを、5つのテーマで紹介した。

会 期 平成13年4月1日(日)～6月1日(金) 51日間

会 場 第8展示室

展示点数 46点

入場者数 18,430人

【Ⅰ. 房総と近代美術】

<洋画>

1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	"	小丹波村	1893
3	"	老母像	1906
4	梅原 龍三郎	竹窓読書図	1937
5	岸田 劉生	霽れたる冬之日	1917
6	黒田 重太郎	浴後	1927
7	椿 貞雄	八重子像	1918
8	"	牡丹	1920
9	安井 曾太郎	熱海附近	1929

<彫刻>

1	新海 竹太郎	老馬	1921
2	高村 光太郎	裸婦座像	1916頃
3	"	大倉喜八郎の首	1926
4	"	野兎の首	1945~52
5	藤野 天光	希望	不詳

【Ⅱ. 堀江正章と旧制千葉中学の弟子たち】

<洋画>

1	堀江 正章	耕地整理図	1901~02
2	"	西村房太郎氏祖母像	1926~30
3	板倉 鼎	裸婦	1929
4	大野 隆徳	北京・北海の春(一)	1938
5	菅谷 元三郎	母の像	不詳
6	柳 敬助	婦人像	"

<工芸>

1	青木 滋芳	染色笠森寺	1969
---	-------	-------	------

【Ⅲ. 房総と近代工芸】

1	香取 秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
2	"	菊文釜	不詳
3	津田 信夫	鳳翔薫炉	1937
4	"	北辺夜猫子	1941
5	信田 洋	透壺	1968
6	"	銀壺(花ひらく)	1969
7	藤田 喬平	飾筥朱雀	1978
8	"	飾筥・しだれ櫻	1985
9	宮之原 謙	盛上磁葡萄唐草壺	1943
10	"	彩地盛連葉文壺	1955頃

【Ⅳ. 描かれた房総】

1	浅井 忠	漁婦	1897
2	石井 柏亭	冬の朝(行徳)	1909
3	大久保 作次郎	海水浴帰り	1917
4	三田 康	廃墟	1965
5	椿 貞雄	鋸山から見た房総半島	1948
6	寺田 政明	船具	1970
7	林 倭衛	太海	不詳

【Ⅴ. バルビゾン派の画家たち】

1	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860~65
2	デュプレ	嵐の前	不詳
3	ジャック	森の中	1871
4	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
5	ルソー	バルビゾンの農場	1850~55
6	トロワイヨン	河辺の道	1860~65

「浅井忠とその周辺」

浅井忠の多彩な足跡を、幼年時代から工部美術学校で学んだ東京時代、ヨーロッパへの留学時代、帰国後の京都時代と、関係作家の作品とともに、ほぼ時代を追って紹介した。

会 期 平成13年7月21日(土)～9月2日(日) 38日間

会 場 第1、2展示室

展示点数 85点

入場者数 16,831人

【Ⅰ. 幼年時代】

1	黒沼 槐山	花鳥図	不詳
2	浅井 忠	槐庭時代画帳	1864頃
3	"	草書千字文	1866頃
4	"	謝恵連雪賦	"

【Ⅱ. 東京時代】

1	フォンタネージ	木立	1868～72
2	"	池と樹木	1870～72
3	"	神女之国	1876～78
4	"	風景1	不詳
5	"	風景2	"
6	浅井 忠	女の顔(模写)	1876～78
7	"	石膏臨画	不詳
8	"	手	"
9	"	ミレーの木版画「昼寝」の模写	"
10	"	印旛沼	1878頃
11	"	本所風景	"
12	"	玉川	"
13	"	鍛冶橋	"
14	"	風景	"
15	"	沢入駅	1884
16	"	溪流	"
17	"	曳舟通り	1885
18	"	房州白浜	1886
19	"	房州白浜	1887
20	"	藁屋根	1887頃
21	"	白浜風景	1888
22	"	房州波太村	"
23	"	小丹波村	1893
24	"	漁婦	1897
25	松岡 寿	森と小川	1895
26	石井 柏亭	冬の朝(行徳)	1909
27	都鳥 英喜	海浜風景	"
28	石川 欽一郎	赤城淡煙	不詳

【Ⅱ-1. 浅井忠と教科書】

1	浅井 忠	本と花	1889
2	"	桶とせいろ	1902～07
3	"	はたらく婦人	"
4	"	樹Ⅰ	"
5	"	野菜	不詳
6	"	『彩画初歩』	1896
7	"	『新按小学画手本』	"
8	"	『修正新案小学画手本』	1900
9	"	『中学習画帖』	"
10	"	『小学鉛筆画帖』	1902
11	"	『中等鉛筆画手本』	1905
12	"	『新編自在画臨本』	"

【Ⅱ-2. 日清戦争への従軍】

1	浅井 忠	平壤大同江煉光亭	1894
2	"	朝鮮大同門図	"
3	"	貔子窩第二軍司令部	1894～95
4	"	灤家邨天長節祝宴	"
5	"	金州城南門外	"
6	"	金州城壁上	"
7	"	旅順戦後の搜索	1895
8	"	スケッチブック	1894
9	"	『従征画稿』	1895

【Ⅲ. パリ時代】

1	浅井 忠	パリ公園	1900~02	9	鹿子木 孟郎	風景	不詳
2	"	フォンテンブローの夕景	1901	10	足立 源一郎	あは田	1907
3	"	フォンテンブローの森	"	11	梅原 龍三郎	伊豆大仁風景	1929
4	"	グレーの塔	"	12	小川 干甕	港	不詳
5	"	農婦	1902	13	加藤 源之助	秋の山 (大和初瀬村)	1908
6	塚本 靖	フォンテンブローの釣人	1901	14	国松 桂溪	仏国トルドンヌ	1923頃
7	和田 英作	塚本靖肖像	"	15	黒田 重太郎	女と小犬	1928

【Ⅳ. 京都時代】

1	浅井 忠	農家	1902	16	榊原 一広	収穫	1918
2	"	奈良郊外	1903	17	澤部 清五郎	婦人像	1913
3	"	京都高等工芸学校の庭	"	18	霜鳥 之彦	緑のスウェーター	1923
4	"	老母像	1906	19	田中 志奈子	デッサン (裸婦)	1906
5	"	婦人像	1907	20	田中 善之助	高台寺	"
6	伊藤 快彦	林檎	不詳	21	中林 憐	風景	不詳
7	桜井 忠剛	バラ	"	22	西川 純	保津峡	"
8	牧野 克次	松林	"	23	長谷川 良雄	高等工芸学校西裏通り	1907
				24	間部 時雄	寒林	不詳
				25	安井 曾太郎	デッサン (裸婦)	1907

「炎の造型—陶芸—」

陶芸の釉薬、絵付けの顔料、搔落とし・象嵌等の装飾技法による作品や、陶器による彫刻である陶彫、「用」の形の美しさを備えた茶碗や花瓶、オブジェなどにより、それぞれの作家の魅力を紹介した。

会 期 平成 13 年 7 月 21 日 (土) ~ 9 月 2 日 (日) 38 日間

会 場 第 3 展示室

展示点数 29 点

入場者数 16,831 人

1	神谷 紀雄	鉄絵銅彩あやめ紋大鉢	1986	15	沼田 一雅	鸚鵡	不詳
2	"	鉄絵銅彩椿紋壺	1987	16	三橋 英作	象嵌花器 (展)	1984
3	川上 祥三郎	黄釉鳥紋大花器	1975	17	宮之原 謙	白磁四方百合象嵌大皿	1935頃
4	"	釉彩草文大皿	1984	18	"	天目釉蓮蕾彫文壺	1940頃
5	河村 蜻山	初黒茶碗	1938~46	19	"	盛上磁葡萄唐草壺	1943
6	"	長方皿 雨・風・晴	不詳	20	"	鉄茶軸鱗文花瓶	1975頃
7	津田 信夫	蜻蛉耳花生	1941~43	21	山本 正年	黎明	1953
8	"	鯰	"	22	"	瑞光	不詳
9	"	狸	"	23	横山 光ノ介	戦碑	1976
10	土肥 刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃	24	横山 朝陽	牡丹紋搔落壺	不詳
11	"	銅彩牡丹文扁壺	不詳	25	"	草花文搔落花瓶	"
12	土肥 紅繪	吹き去りて	1980	26	"	伊羅保茶碗	"
13	土肥 満	向かいあう単体	1975	27	"	花鳥文四方水指	"
14	"	蹲踞	1993				

「創る そして 語る」

創作という行為や制作されたものの周囲には、いくつもの言葉がちりばめられている。本館収蔵の立体及び平面作品を、創作をめぐって語られた作家の言葉とともに紹介した。

会 期 平成13年9月8日(土)～10月8日(月) 27日間
 会 場 第1、2展示室
 展示点数 45点
 入場者数 12,571人

<日本画>

- | | | | |
|---|-------|----|------|
| 1 | 関 主税 | 澗声 | 1977 |
| 2 | " | 晨 | 1984 |
| 3 | 東山 魁夷 | 春雪 | 1973 |
| 4 | 松尾 敏男 | 原野 | 1971 |

<洋画>

- | | | | |
|----|--------|------------|-------|
| 1 | 石井 柏亭 | 聖フランチェスコ寺院 | 1923 |
| 2 | " | 安倍川 | 1936頃 |
| 3 | " | 信州風景 | 1948 |
| 4 | 伊牟田 経正 | 悲劇 | 1977 |
| 5 | 梅原 龍三郎 | 竹窓読書図 | 1937 |
| 6 | 岸田 劉生 | 零れたる冬之日 | 1917 |
| 7 | 小堀 進 | 大穹 | 1974 |
| 8 | " | 花と海 | " |
| 9 | 椿 貞雄 | 夏の路傍 | 1921 |
| 10 | " | アンドレ裸体 | 1932 |
| 11 | " | 黒壺に椿一輪 | 1948 |
| 12 | " | 秋果図 | 1951 |
| 13 | 中山 爾郎 | 雲と水と北の国 | 1977 |
| 14 | " | 風渡る | 1978 |
| 15 | 安井 曾太郎 | 熱海附近 | 1929 |
| 16 | クールベ | 眠る人 | 1853 |
| 17 | " | 嵐 | 1865頃 |
| 18 | " | 雪の中の小鹿 | 1869頃 |

<彫刻>

- | | | | |
|----|--------|----------------|------|
| 1 | 郡司 和男 | 天使 | 1978 |
| 2 | 高村 光太郎 | 手 | 1918 |
| 3 | " | 十和田裸婦像のための手 | 1952 |
| 4 | " | 十和田裸婦像のための中型試作 | 1953 |
| 5 | 長谷川 昂 | 朝 | 1979 |
| 6 | " | 砂あそび | 1997 |
| 7 | 舟越 保武 | 婦人像 | 1985 |
| 8 | 松本 雄治 | 大母神、天を翔ける | 1984 |
| 9 | 六崎 敏光 | 香風 | " |
| 10 | 山本 正道 | ヴァージニア | 1979 |
| 11 | " | エトルリアの壺 | 1985 |

<版画>

- | | | | |
|----|--------|--------------|------|
| 1 | 池田 満寿夫 | 飾り窓の中 | 1963 |
| 2 | " | 開いたブラウス | 1966 |
| 3 | " | 閉ざされた夜のために | " |
| 4 | " | ハートの位置 | 1968 |
| 5 | " | 午後 | 1969 |
| 6 | " | スフィンク | 1970 |
| 7 | " | 夜の旅 | " |
| 8 | 浜口 陽三 | 版画集「ポルトフォリオ」 | 1974 |
| 9 | " | ロビーナのさくらんぼ | 1981 |
| 10 | " | 西瓜 | " |
| 11 | " | 青い蝶 | 1982 |
| 12 | " | てんとう虫 | 1984 |

「抽象彫刻の試み」

抽象的な傾向を持っている彫刻作品を紹介した。

会 期 平成13年12月15日(土)～平成14年4月14日(日) 95日間
 会 場 第7展示室
 展示点数 17点
 入場者数 38,156人

- | | | | | | | | |
|---|-------|----------------|------|----|-------|---------------------|------|
| 1 | 池田 丈一 | ひねくれた正四面体 | 1981 | 10 | 堀川 恭 | 丸いフォルム | 1975 |
| 2 | 大国 丈夫 | ヨガ | 1984 | 11 | " | 聖なる佇立 | 1981 |
| 3 | 陰里 寿朗 | 構造上の森(街かもしれない) | 1988 | 12 | 六崎 敏光 | 香風 | 1984 |
| 4 | 工藤 健 | 愁いのマンドーラ | 1991 | 13 | " | 暖流 | " |
| 5 | 鈴木 啓子 | FEELING-69 | 1969 | 14 | 安田 侃 | 天泉(マケット) | 1993 |
| 6 | 関 正司 | IRON LADY | 1982 | 15 | 山崎 英五 | 地を這うものどもXIII | 1981 |
| 7 | 原 武典 | 水の中の太陽('81) | 1981 | 16 | " | 地を這うものどもVIII | 1978 |
| 8 | " | 水の中の太陽('82) | 1982 | 17 | 米林 雄一 | Circle and triangle | 1983 |
| 9 | 伴 正史 | 人「無言」 | 1997 | | | | |

「眼差しの行方」

人物表現における「眼差し」に焦点をあてて作品を紹介した。

会 期 平成14年2月2日(土)～3月24日(日) 43日間
 会 場 第1、2展示室
 展示点数 37点
 入場者数 20,531人
 関連行事 2月9日(土) ギャラリートーク

<日本画>

- | | | | |
|---|-------|-----------|------|
| 1 | 酒井 亜人 | 冬 | 1937 |
| 2 | 高畑 郁子 | メスティーソの女達 | 1970 |
| 3 | 若木 山 | 波上海女図 | 1953 |
| 4 | " | 三篤苺る信濃の女 | 1955 |
| 5 | 渡辺 学 | 下総の海女 | 1982 |

<洋画>

- | | | | |
|----|--------|------------|---------|
| 1 | 浅井 忠 | 海辺の少女 | 1902~07 |
| 2 | 伊藤 順一 | 里 | 1992 |
| 3 | 梅原 龍三郎 | 純子像 | 1968 |
| 4 | 岸田 劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 5 | 熊谷 文利 | 佳境に入る女祈祷師 | 1978 |
| 6 | 櫻井 晨正 | Carrie | " |
| 7 | 田中 定一 | 私の地球 | 1990 |
| 8 | 椿 貞雄 | 自画像 | 1915 |
| 9 | " | 八重子像 | 1918 |
| 10 | " | 横堀角次郎兄像 | 1921 |
| 11 | " | 春夏秋冬図屏風(春) | 1931 |
| 12 | " | 老政治家の像 | 1953 |
| 13 | 松澤 茂雄 | 海辺の裸婦 | 1981 |

- | | | | |
|----|-------|-----|---------|
| 14 | コ ラ ン | 田園詩 | 1903 |
| 15 | ルノワール | 少女像 | 1916~18 |

<版画>

- | | | | |
|----|-------|----------------------|------|
| 1 | 瑛 九 | みみづく | 1953 |
| 2 | " | 動物の仲間 | " |
| 3 | " | ヴァイオリン | " |
| 4 | " | 林の目 | " |
| 5 | " | 白さぎ | 1955 |
| 6 | " | 指の目 | " |
| 7 | " | 顔 A | " |
| 8 | " | 愛する二人 | " |
| 9 | 池田 良二 | Scattered Seeds | 1979 |
| 10 | " | Nobody knows my mind | 1981 |
| 11 | 深沢 幸雄 | 青い裸像 A | 1975 |
| 12 | " | 掌の中の影 | 1976 |
| 13 | " | りんごの中の夜 A | 1978 |
| 14 | " | 凍れる歩廊(ベーリング海峡) | " |
| 15 | " | 湾頭に開く花 | 1979 |
| 16 | " | 天空を計る | " |
| 17 | 山下 哲郎 | TRAVEL-12 | 1996 |

「石井雙石の篆刻」

木、石、金属等に文字を刻んで印を作り、書画等に用いる篆刻を志し、数々の優品を生み出した石井雙石の作品を紹介した。「自用印」、「遊印」、「刻字」、「書」をはじめ、制作に用いた道具の「印床」、篆刻誌「彫蟲」、スクラップ・アルバム類も併せて展示した。

会 期 平成14年2月2日（土）～3月24日（日） 43日間
 会 場 第3展示室
 展示点数 106点
 入場者数 20,351人

【1. 印】

<日展出品作品>

- 1 種竹齊 1948
- 2 陶犬瓦鷄 1952
- 3-a 午睡 1954
- 3-b 故人今人如流水 "
- 4-a 五里霧中 "
- 4-b 半仙 1968
- 5 月入斜窓曉寺鐘 1956
- 6 遊魚出水帰燕受風 1957
- 7 養心王鉢 1960
- 8 虎威將軍章 1961
- 9 南極大守 1966
- 10-a 碩鉢 1970
- 10-b 雙石 "

<自用印>

- 11 碩 1949
- 12 碩印 "
- 13 醉碩 "
- 14 不二山客 1951
- 15 碩鉢 1952
- 16 碩鉢 "
- 17 子寛 "
- 18 雙石 1961
- 19 碩 不詳
- 20 碩 "
- 21 碩 "
- 22 碩 "
- 23 醉碩 "
- 24 井碩 "
- 25-a 井碩 "
- 25-b 井碩 "
- 26 雙石 "
- 27 雙石 "
- 28 雙石所作 "

<遊印>

- 29 延年益寿 1915
- 30 胡人入漢 1943

- 31 足以容膝 1946
- 32 解衣般礴 1951
- 33 林鳥相忘不避人 "
- 34 吟月 1952
- 35 天假之年 "
- 36-a 醉郷候印 "
- 36-b 非心非佛 1960
- 37 与人風馬牛 1952
- 38 洗竹 1953
- 39 無可無不可 "
- 40 春晚落華餘碧草 "
- 41 常山之蛇 "
- 42 跌坐蹴 "
- 43 盃中蛇景 "
- 44 故弄諷詭 1953頃
- 45 木兄馬 1954
- 46 清樂 "
- 47 木弟羊 "
- 48 穆如 "
- 49 又得浮生半日間 "
- 50 清風明月醉時歌 "
- 51 雙松在前軒 "
- 52 中扇外閉 "
- 53 樂在其中 "
- 54 無為 "
- 55-a 偶成（刀ヲ匠ラシ復タ〜） "
- 55-b 吉陽 "
- 56 有竹居 1961頃
- 57 天衣無縫 1955~57
- 58-a Tiger 1955~64
- 58-b 左思右考 "
- 59 富士（図） "
- 60 牡丹記念 1965~74
- 61 人盡樂 1967
- 62 林外雪消山色静窓前春竹浅聲寒 不詳
- 63 一長一短 "
- 64 半仙玩窟藏 "
- 65 水廣魚游 "

収蔵作品による企画展

- 66 何因鉢 不詳
- 67 川 ”
- 68 談藝論道 ”
- <一笑百印>
- 69 一笑百印 1947

【2. 刻字】

- 70 平安 1959
- 71 至人只是常 1962
- 72 人生一樂 1963
- 73 いろは歌 1964
- 74 山華水鳥皆知己 1967
- 75 清風自来 1969

【3. 印影（額装・軸装）】

- 76 一笑百印 1947
- 77 水廣魚游 1949
- 78-a 陶犬瓦鶏 1952
- 78-b 醉郷候印 ”
- 79 故弄諷詭 1953
- 80 偶成（刀ヲ匣ラシ復タ〜） 1954
- 81 養心王鉢 1960
- 82 虎威將軍章 不詳
- 83 踏破千山萬嶽煙 1963
- 84 故人今人如流水 1964
- 85 借宅亦種竹 ”
- 86 久遠寺印 1965

【4. 書】

- 87 一笑百印由来 1947
- 88 虎 1962
- 89 蝸牛画 不詳
- 90 和敬静寂 1965
- 91 樂 1966
- 92 呑む 1967
- 93 一盃一盃復一盃 1968

【5. その他】

- 94 文史游観（亀甲文習作） 不詳

【6. 借用作品】

- 95 千葉県知事印（表彰用） 1970

【7. 資料】

- 1 雕蟲 1911~50
- 2 石井雙石関係アルバム 1955~64
- 3 雙石詩稿 不詳
- 4 石井雙石旧蔵スクラップ ”
- 5 石井雙石スケッチブック ”
- 6 六書通索引 ”
- 7 詩索（下） ”
- 8 書品索引 ”
- 9 古文未詳誌 ”
- 10 部首 ”
- 11 石井雙石使用印床 ”

* リスト中のa、bと記してあるのは、同じ印の表裏に刻んである作品

「金工作品の魅力」

金工界に大きな足跡を残した千葉県出身の香取秀真や津田信夫の作品を中心に、動物をモチーフとした香炉、置物などの金工作品を紹介した。

会 期 平成 14 年 2 月 2 日 (土) ~ 4 月 14 日 (日) 62 日間
 会 場 第 8 展示室
 展示点数 49 点
 入場者数 27,267 人

1	会田 富康	蓋のある青銅壺	1965	26	津田 信夫	鳳翔薫炉	1937
2	"	青銅双鳥置物	不詳	27	"	猿	"
3	大須賀 喬	蝶文黒銅香炉	1983	28	"	子迷家鴨	1938
4	香取 秀真	烏銅鳳凰香炉	1911	29	"	蛇	"
5	"	鳩香炉	1949	30	"	羊	"
6	"	霊獣文大花瓶	不詳	31	"	鶯	1939
7	"	鳥図真形釜	"	32	"	北辺夜猫子	1941
8	"	笑獅子香炉	"	33	"	荒鷺	1942
9	"	銅製おしどり型香合	"	34	"	唐獅子置物	1946
10	"	銅製猪型水差し	"	35	"	玉麟燗爐	不詳
11	"	美々豆久香爐	"	36	"	虎 (文柄大人)	"
12	"	瑞鳥飾三足鑪	"	37	"	水牛	"
13	鈴木 治平	湿原の詩	1985	38	"	犬	"
14	帖佐 美行	香実と想鳥 (集いの為の酒器セット)	1984	39	"	馬	"
15	津田 永寿	鳥の花器	1979	40	"	水牛	"
16	"	雪の朝	1989	41	"	月下妖麗	"
17	津田 信夫	喜心	1998	42	"	兔	"
18	"	海	1927	43	"	花瓶	"
19	"	変貌七色	1933	44	"	鶴	"
20	"	灰皿	1934	45	信田 洋	黒孔雀の瓶	1967
21	"	蛙	"	46	"	銀瓶 (マーキュリー)	1978
22	"	嘶馬	"	47	山室 百世	鑄銅進駐置物	1941
23	"	胡孫遊目	1935	48	"	鑄銀小鳥のささやき	1943
24	"	雷吼一聲	"	49	"	龐銀粧える鳥置物	1964
25	"	鴨	1936				

特別展

世紀末から 西洋の中の日本

ジャポニスム展

アメリカのニュージャージー州立ラトガース大学付属ジェーン・ヴァーヒーズ・ジマーリ美術館が所蔵する版画、水彩画、パステル画、油彩画などを5つのコーナーに分けて展示し、西洋美術が日本から受けた影響の一端を紹介した。

会 期	平成13年6月9日(土)～7月15日(日)	32日間
会 場	第1、2、3、8展示室	
展示点数	168点	
入場者数	10,037人	
主 催	千葉県立美術館	
後 援	アメリカ大使館	
協 力	日本航空	
企画協力	(株)谷口事務所	
協 賛	京成電鉄株式会社／小湊鉄道株式会社／東葉高速鉄道株式会社／北総開発鉄道株式会社	

【1. 日本趣味】

1	ポール・マリー・ルノアール	日本の舟	1874頃
2	フェリックス・ビュオ	木製の面—『ジャポニスム：10のエッチング』より	1875
3	アンリ＝シャルル・ゲラル	屏絵と書票—『ジャポニスム：10のエッチング』より	1883
4	〃	扇面画(日本の面)	1880頃
5	〃	扇面画(男)	1885頃
6	〃	日本の小さい人たち	〃
7	伝アンリ・ソム	扇面画	1880頃
8	アンリ・ソム	ジャポニスム	1881
9	〃	ディヴァン・ジャポネ	1890頃
10	ジェイムズ・ティソ	放蕩息子—遠い国々にて	1881
11	フェリックス・レガメー	秋	1885
12	ルイーゼ・アッペマ	日本庭園のサラ・ベルナール	1885頃
13	J. レイマン	習作[日本の女性]	〃
14	〃	名刺のデザインの習作[太鼓打ちと犬]	〃
15	ジョルジュ・ビゴー	『日本の正月』	1886
16	〃	東京の城の一角(櫻田御門と和田子浦御門の間)	1895頃
17	〃	茶屋の門前の日本人歌手	1897

18	〃	日本人三味線奏者	1899
19	モーティマー・L. メンペス	三味線奏者	1887-96頃
20	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	国立音楽アカデミー、バレエ公演「夢」	1889
21	ジュール・シェレ	日本美術展のためのポスター	1890
22	ヘレン・ハイド	田んぼからの帰り	1901
23	ヘレン・ハイド	日本の子供の歌	〃
24	〃	竹柵	1904
25	〃	赤ちゃん言葉	1908
26	C. A. ワーグマン	公園	1904
27	ジュール・シャデル	這う男	1905-10頃
28	ホアン・グリス	日本の風景	1906-10頃
29	バーサ・ラム	日本の漁師	1912
30	チャールズ・W. パートレット	神戸	1916

【II. 花鳥風月】

1	フェリックス・ブラックモン	扇面画	1865-70頃
2	〃	皿のデザイン (鴨)	1875-78頃
3	〃	雄鶏	1882
4	エドゥアール・マネ	『大鴉』	1875
		a) 『大鴉』表紙	
		b) 飛翔する大鴉：書票	
		c) ランプの下で—「嘗て物寂しい真夜中に……」	
		d) 窓辺にて—「ここに私は鎧戸を開け放った……」	
		e) 胸像の上の大鴉—「パラスの像へと降り立った……」	
		f) 椅子—「床の上に漂いつつ横たわるその影……」	
5	チャールズ・カーライル・コールマン	夜のふくろう	1879
6	ジュール=オーギュスト・アペール=デイス	鯉—『ファンテジー・デコラティヴ』より	1886
7	〃	鳥の飛翔—『ファンテジー・デコラティヴ』より	〃
8	サミュエル・ビング編／作者不詳	『芸術の日本』誌表紙	1890
9	ジョルジュ・オリオール	シャ・ノアール劇場用プログラムの表紙	1891
10	〃	扇面画	1892
11	マリー・ゴージェ	6匹の蛙	1892頃
12	〃	虫と蛙、野百合	1895頃
13	〃	キンレンカとハチ	〃
14	〃	6匹の魚 1	〃
15	〃	6匹の魚 2	〃
16	〃	甲殻類	〃

特別展

17	ピエール・ロシュ	海藻	1893
18	シャルル＝ルイ・ウダール	かきつばたと蛙 — 『エスタンプ・オリジナル』誌第8号より	1894
19	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ホロホロ鳥—ジュール・ルナール著『博物誌』より	1899
20	〃	ブター—ジュール・ルナール著『博物誌』より	〃
21	ジュール・シャデル	鴨	1900頃
22	〃	鷺	1905頃
23	〃	蜻蛉	〃
24	〃	モノグラム図案	1905-10頃
25	〃	カーネーションと茄子	1910頃
26	〃	かささぎと虫	〃
27	エドゥナ・ボイズ・ホプキンス	ヴェロニカ	1905頃
28	〃	アカシア	1908頃
29	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	夏：手摺りの上の猫	1909
30	パーサ・ラム	青い鳥の島	1916

【Ⅲ. 春夏秋冬】

1	ウインスロー・ホーマー	グロースター港	1873
2	アンリ＝シャルル・ゲラル	出漁：月光の効果	1875-97頃
3	カミーユ・ピサロ	積礫のある夕暮風景	1879
4	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ヘイスティングス	1880
5	ポール・ゴーガン	海の惨劇（メールシュトレームに吞まれて） — 『ヴォルピーニ連作』より	1889
6	リヒャルト・ランフト	霧の多い日に川のそばで	1890-95頃
7	アンリ・リヴィエール	オートゥイユ鉄橋より — 『エッフェル塔三十六景』のための習作	1891
8	〃	オーステルリッツ橋より — 『エッフェル塔三十六景』のための習作	〃
9	〃	『エッフェル塔三十六景』 画帳	1902
10	〃	波の習作	1893
11	〃	冬	1896
12	〃	せせらぎ—版画集『自然の諸相』第12図	1898
13	〃	イル・デ・シーニュー—版画集『パリの風景』第1図	1900
14	〃	夜明け—版画集『時の魔術』第1図	1901
15	シャルル・ギュー	風景の習作	1891
16	〃	[川と木々の景色]	1898
17	〃	ポプラのある月景色	1900

18	ポール・セリュジェ	「一日の終わり」習作	1893
19	フェリックス・ヴァロトン	海	1893
20	マリー・ゴージェ	サン・ブリアック	1893頃
21	アンリ＝ギュスターヴ・ジョソ	波—『エスタンプ・オリジナル』誌第6号より	1894
22	ポール・シニャック	ブリシゲン	1894頃
23	ポール・シニャック	夜—『パン』誌IVより	1898
24	アーサー・ウヰズリー・ダウ	小型漁船	1895頃
25	エドゥアール・ヴュイヤール	アトリエ前の庭	1899
26	テオドル・ルーセル	ボグナーの海—『色刷版画集』第6図	1900
27	ジュール・シャデル	[冬の風景]	1905頃
28	〃	風景	1920
29	ブルーア・ジュリアス・ノードフェルト	北の海の漁師	1906
30	〃	橋	〃
31	アンリ・エドモン・クロス	海景—「聖クレア」シリーズより	1908

【IV. 人間模様】

1	ウインスロー・ホーマー	ロングブランチの崖の上にて	1870
2	ジャン＝フランソワ・ミレー	鋤にもたれる土掘人夫	1874
3	アンリ・ソム	うちわを背にした女の肖像	1895頃
4	メアリ・カサット	子供の世話	1889-90
5	〃	靴下	〃
6	カミーユ・ピサロ	収穫する二人の女	1890
7	テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	最後の花	1890頃
8	アンリ・ガブリエル・イベルス	カフェ・コンセール	1892
9	オーギュスト＝ルイ・ルペール	病みあがり：ルペール夫人	〃
10	ウジェーヌ＝サミュエル・グラッセ	グラフトン・ギャラリーのポスター	1893
11	ジョルジュ・ド・フル	悪の泉—『エスタンプ・オリジナル』誌第6号より	1894
12	エルマン＝ポール	ベビー・ベッドの子供たち	〃
13	〃	電車に、さよなら	〃
14	〃	老女—「フランスの女性」より	〃
15	〃	プロムナード	1895
16	〃	「制服」—『若い女性のための画集』より	1896
17	フェリックス・ヴァロトン	[にわか雨]—『強烈なパリ』より	1894
18	ルイ・ヴァルタ	カフェ・コンセール	1895
19	モーリス・ドニ	ポール・ヴェルレーヌの『知恵の書』の挿絵	1889
20	〃	小瓶をかかげるマルト、あるいは水差しを持つ少女	1895
21	〃	海の前の母性	1900
22	ジョルジュ・オリオール	スコットランドとイギリスの歌	1895

特別展

23	ジョルジュ・オリオール	扇面画—橋の上の女性	1895頃
24	ハンス・クリスチャンセン	水浴する人	"
25	ウジェーヌ・ドラートル	カフェ・コンセールにて	"
26	アンリ・ジャック・エヴェヌポル	広場にて—『エスタンプ・モデルヌ』誌より	1897
27	アンリ・ムーニエ	静寂の時—『エスタンプ・モデルヌ』誌より	"
28	リヒャルト・ランフト	曲馬乗り—『エスタンプ・モデルヌ』誌より	1898
29	"	朝の散歩	1900頃
30	ジョルジュ・ボッティエーニ	アイリスの女	1898
31	"	サゴのショー・ケース	"
32	ピエール・ボナール	四季の商人—版画集『パリのいくつかの側面』より	1899
33	アベル・トゥリュシエ	リュクサンブール公園	1900頃
34	ジャック・ヴィヨン	エレン・アンドレ嬢	1900
35	"	裏話	1901
36	ポール・イリベ	アイススケート	1902

V 装飾意匠

1	フェリックス・ブラックモン	パリジェン食器セットのための皿のデザイン	1870頃
2	ジュール・ヴィエイヤール工房	タバコ入れセットのデザイン	1880頃
3	"	藤の花の絵柄のある陶器のデザイン	"
4	作者不詳	カラーの花の絵柄のある陶器のデザイン	"
5	"	花鳥図屏風のデザイン	"
6	エマニュエル・ジョセフ=ラファエル・オラーツィ	カラッチョーロの「目覚め」のための楽譜表紙	1884
7	"	ロトーリの「愛する」のための楽譜表紙	"
8	"	ロイ・フラーのためのポスター	1900
9	ジュール=オーギュスト・アペール=ディス	扇の模様のある壁紙のデザイン —『ファンテジー・デコラティヴ』より	1886
10	"	飾り窓のデザイン —『ファンテジー・デコラティヴ』より	1887
11	モーリス・ドニ	ドビュッシーの「祝福された娘」の内表紙のためのデザイン	1892
12	"	『トゥールーズ新聞』のためのポスター	"
13	アンリ・ガブリエル・イベルス	メヴィストのラ・ゲテ劇場におけるコンサート用ポスター	"
14	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1893
15	カミーユ・マルタン	『エスタンプ・オリジナル』第5号の表紙デザイン	1894
16	リヒャルト・ランフト	「サロン・デ・サン」ポスター原画	"

- 17 テオフィル・アレクサンドル・スタンラン 「スタンランによるデッサンと油彩展」ポスター 1894
- 18 アンリ・クリスチャンセン 「ソシエテ・ジェネラル・ド・ピュブリシテ」ポスター原画 1895
- 19 アルフォンス・マリー・ミュシヤ 第20回「サロン・デ・サン」のポスター 1896
- 20 アーサー・ウェズリー・ダウ 月刊誌『ロートス』のためのポスター //
- 21 ウジェーヌ＝サミュエル・グラッセ編 『植物の装飾的応用』第1編、第2編 1897-99
- a) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「芥子」-第1編より
- b) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「芥子」-第1編より
- c) マーク・マンギン 「芥子」-第1編より
- d) E. ヘルヴェグ 「シクラメン」-第1編より
- e) E. ヘルヴェグ 「シクラメン」-第1編より
- f) アンナ・マルティン 「シクラメン」-第1編より
- g) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「キンレンカ」-第1編より
- h) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「キンレンカ」-第1編より
- i) アンナ・マルティン 「キンレンカ」-第1編より
- j) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「ひまわり」-第2編より
- k) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「ひまわり」-第2編より
- l) L. プールジョ 「ひまわり」-第2編より
- m) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「ニラ」-第2編より
- n) モーリス・ピラール・ヴェルヌイユ 「ニラ」-第2編より
- o) J. ミレージ 「ニラ」-第2編より
- 22 アウグスト・ジャコメッティ 壁紙のデザイン 1899頃

こどものための展覧会「赤と青、どっちが好き？どっちも好き！」

こども達に「みる」「つくる」「描く」活動を体験させるため、赤と青の2色の色彩に着目して、油彩やガラス絵など多彩な作品を紹介した。

会 期 平成13年7月21日(土)～9月2日(日) 38日間

会 場 第8展示室

展示点数 25点

入場者数 13,023人

関連行事 「パステルづくり」 身近な材料を使って自分色の赤と青のパステルを制作。
会期中の土・日曜日午後14時～16時実施。参加者560人
8月1日 「出品作家による公開制作」(上野憲男氏)

1	巖 嘸	CLOUDS	1975	14	吉武 研司	旅日記一人のむれ(ダッカ)	1996
2	"	HEARTS	"	15	"	旅日記一人のむれ(ダッカ)	"
3	"	INSECTS	"	16	上野 憲男	種子と惑星-RHYTHM	1994
4	"	BIRDS	"	17	"	方舟の庭-メランコリアー	1996
5	"	ANGELES	"	18	齋藤 研	断片的なエピソード	1994
6	吉澤 美香	りー70	1996	19	岩井 壽照	ELEMENT OF LANDSCAPE	1997
7	"	りー71	"	20	"	ELEMENT OF LANDSCAPE	1999
8	落田 洋子	Be quiet	1995	21	"	ELEMENT OF LANDSCAPE	"
9	"	他人の情熱	"	22	深沢 幸雄	青い壘の中	1999
10	"	BREAD	1990	23	"	青い小鳥	"
11	"	tulip	"	24	"	四角な詩人	"
12	"	PANTO	"	25	"	二人と閃光	"
13	"	SARDINES	"				

「触れる美術展」

美術作品にじかに触れることのできる展覧会として、本館の収蔵作品、県内で活躍する彫刻家の作品、千葉県立千葉盲学校の生徒の作品を紹介した。

会 期 平成 13 年 9 月 18 日 (火) ～ 9 月 28 日 (金) 10 日間

会 場 第 7 展示室

展示点数 38 点

入場者数 3,659 人

- | | | | | | |
|-----------|-------------|------|-----------|---------------|-------|
| 1 青木 三四郎 | Fly | 2000 | ○21 安田 侃 | 天泉 (マケット) | 1993 |
| 2 石橋 亘 | かめ | 2001 | ○22 柳原 義達 | 風の中の鴉 | 1984 |
| 3 上野 弘道 | 孤独なユダ | " | ○23 山崎 英五 | 地を這うものども XIII | 1981 |
| 4 陰山 正人 | MEDHITATION | 1990 | | | |
| 5 神谷 陸代 | NO SIDE | 1998 | <生徒作品> | | |
| 6 北井 博文 | Leaves | 2000 | 1 津上 大峻 | 大好きな粘土の木 | 小学部2年 |
| 7 酒本 雅行 | FLIGHT | 1994 | 2 渡邊 泰明 | はっぱのオブジェ | 小学部3年 |
| 8 渋谷 三郎 | 「ウコッケイ」の肖像 | 2001 | 3 角頼 和将 | ペンギンファミリー | 小学部4年 |
| 9 虎竹 秀芳 | 青年の像 | 1986 | 4 前田 りひろ | マウンテン | 小学部5年 |
| 10 平戸 貢児 | BLADE | 1999 | 5 大田 実成子 | 花となかよし | " |
| 11 福永 巨 | ゆう | 2001 | 6 阿部 徹 | とり | 中学部1年 |
| ○12 池田 丈一 | ひねくれた正四面体 | 1981 | 7 菊地 雄一郎 | さかな | 中学部2年 |
| ○13 梅原 正夫 | 母と子 | 1984 | 8 石上 美登里 | 花のつぼ | " |
| ○14 佐藤 忠良 | ラップ帽 | 1982 | 9 丸田 望 | 風のおうち | 中学部3年 |
| ○15 鈴木 章 | 七面鳥 | 1932 | 10 安部 和也 | 海の思い出 | " |
| ○16 鈴木 啓子 | FEELING-69 | 1969 | 11 市原 麻奈 | 風の壺 | " |
| ○17 高田 博厚 | ロマン・ロラン | 1961 | 12 小坂 明子 | かえるの家 | " |
| ○18 中島 幹夫 | 風の肖像 | 1975 | 13 村田 創 | 心 | 高等部2年 |
| ○19 六崎 敏光 | 暖流 | 1984 | 14 若菜 洋好 | 遺跡 | " |
| ○20 毛利 教武 | 手 | 1919 | 15 安藤 佐耶佳 | マジックボックス | " |

○は、本館収蔵の作品

「石井康治展」 ガラスが魅せる-詩・季・彩-

千葉市に在住したガラス工芸作家・石井康治は、ベネチアングラス、アール・ヌーヴォー、琳派などの色彩、フォルム、技法を研究し、手吹きガラスの手法で独自の展開を遂げた。主として四季が織り成す光景をモチーフとして制作された石井の花器、ランプ、高杯、筥（はこ）などのガラス作品と関係資料を紹介し、その業績を顕彰した。

会 期 平成13年11月24日（土）～平成14年1月27日（日） 47日間

会 場 第1、2、3展示室

展示点数 93点

入場者数 35,960人

- | | | | |
|-----------------|------|-----------------|------|
| 【1. 花 器】 | | 30 彩流モール器 | 1993 |
| 1 潮騒 | 1983 | 31 流文器「耀」 | 〃 |
| 2 炎晶 | 1984 | 32 環象文器 | 〃 |
| 3 氷彩 | 〃 | 33 樹影「春の景」 | 1995 |
| 4 水玉文コンポート | 1985 | 34 樹影「夏の景」 | 〃 |
| 5 彩炎大鉢 | 1986 | 35 樹影「秋の景」 | 〃 |
| 6 夕映 | 〃 | 36 樹影「冬の景」 | 〃 |
| 7 夕映 | 〃 | 37 彩硝文器 | 〃 |
| 8 木影 | 1987 | 38 彩花文器「霞」 | 〃 |
| 9 彼方 | 〃 | 39 彩花文器 | 〃 |
| 10 窓 | 〃 | 40 彩花文器 | 〃 |
| 11 挽歌 | 1988 | 41 彩花文器「憧」 | 1996 |
| 12 風の景 | 1989 | 42 緑蔭 | 〃 |
| 13 花の景「眺」 | 1990 | 43 大皿「夏の象」 | 〃 |
| 14 花の景「漸」 | 〃 | 44 大皿「秋の象」 | 〃 |
| 15 北溪 | 〃 | 45 彩花文器 | 〃 |
| 16 波の跡 | 〃 | 46 灯 | 不詳 |
| 17 彩烈文器 | 1991 | | |
| 18 彩烈文器 | 〃 | 【2. 高 杯】 | |
| 19 彩烈文器 | 〃 | 1 高杯「春譜」 | 1996 |
| 20 汎状文器 | 1992 | 2 高杯「夏譜」 | 〃 |
| 21 大皿「春の詩」 | 〃 | 3 高杯「宴」 | 〃 |
| 22 礁 | 〃 | 4 高杯「湧」 | 〃 |
| 23 金彩流文大皿 | 〃 | 5 高杯「蓮」 | 〃 |
| 24 線状文花瓶 | 〃 | 6 高杯「雪譜」 | 〃 |
| 25 彩烈文器「轟音」 | 〃 | | |
| 26 汎状文器 | 1993 | 【3. ランプ】 | |
| 27 環象文器「愁」 | 〃 | 1 テーブルランプ | 1990 |
| 28 環象文器「想」 | 〃 | 2 テーブルランプ | 1992 |
| 29 葉状文花生 | 〃 | 3 テーブルランプ | 1993 |

4 テーブルランプ	1993	4 ガラス管「緑蔭」	1995
5 テーブルランプ	"	5 ガラス管「紅彩」	"
6 フロアーランプ	1994	6 ガラス管「新雪」	1996
7 テーブルランプ	"	7 ガラス管「はなびら」	"
8 テーブルランプ	"	8 ガラス管	"
9 テーブルランプ	"	9 ガラス管「花筏」	"
10 テーブルランプ	1996	10 ガラス管「モザイク文」	"
11 テーブルランプ	"		
12 テーブルランプ	"	【5. 小 管】	
13 テーブルランプ	"	1 小 管	1995
14 テーブルランプ	"	2 小 管	"
15 テーブルランプ	"	3 小 管	"
16 テーブルランプ	"	4 小 管	1996
17 テーブルランプ	"	5 小 管	"
18 テーブルランプ	"	6 小 管	"
19 テーブルランプ	"	7 小 管	"
		8 小 管	"
		9 小 管	"
【4. ガラス管】		10 小 管	"
1 ガラス管「岸边」	1994	11 小 管	"
2 ガラス管「秋詩」	1995	12 小 管	"
3 ガラス管「はなびら」	"		

第25回千葉県移動美術館

当館の収蔵作品を中心に、第53回千葉県美術展覧会（県展）の受賞作品を加えた移動美術館を開催し、美術作品を身近に鑑賞できる機会を提供した。

会 場 ①鋸南町立中央公民館

②さんぶの森文化ホール

会 期 ①平成13年11月13日（火）～11月25日（日）11日間

②平成13年11月28日（水）～12月11日（火）12日間

展示点数 30点

入場者数 ①690人

②626人

<日本画>

- | | | | |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 酒井 亜人 | 冬 | 1937 |
| 2 | 島田 良祐 | 海近き村 | 1954 |
| 3 | 富取 風堂 | 魚と胡瓜 | 不詳 |
| 4 | 松尾 敏男 | 原野 | 1971 |
| 5 | 渡辺 学 | 下総の海女 | 1976 |

<洋画>

- | | | | |
|----|--------|----------|------|
| 1 | 巖 嘸 | HEARTS | 1975 |
| 2 | 〃 | INSECTS | 〃 |
| 3 | 浅井 忠 | 漁婦 | 1897 |
| 4 | 伊牟田 経正 | 悲劇 | 〃 |
| 5 | 小堀 進 | 南欧の丘 | 1962 |
| 6 | 櫻田 精一 | 太海 | 不詳 |
| 7 | 椿 貞雄 | 軌果図 | 1951 |
| 8 | 中西 利雄 | 外房風景 | 1936 |
| 9 | 中野 庸二 | a ripple | 1990 |
| 10 | 原 三郎 | 廃船 | 1977 |

<彫刻>

- | | | | |
|---|-------|--------|------|
| 1 | 長谷川 昂 | 朝 | 1979 |
| 2 | 舟越 保武 | 婦人像 | 1985 |
| 3 | 山本 正道 | ヴァージニア | 1979 |

<工芸>

- | | | | |
|---|-------|--------|------|
| 1 | 香取 秀真 | 烏銅鳳凰香炉 | 1911 |
| 2 | 鈴木 治平 | 湿原の詩 | 1985 |
| 3 | 山本 正年 | 黎明 | 1953 |

<書>

- | | | | |
|---|--------|------|------|
| 1 | 浅見 喜舟 | 卜居 | 1980 |
| 2 | 千代倉 桜舟 | 左近の詩 | 1994 |

<版画>

- | | | | |
|---|--------|------------|------|
| 1 | 池田 満寿夫 | Something1 | 1979 |
| 2 | 東山 魁夷 | 冬華 | 1979 |
| 3 | 深沢 幸雄 | 顔は迷路 | 1988 |
| 4 | 星 裏一 | 枝繁る(赤) | 1978 |
| 5 | 増田 陽一 | 森の生活 | 1995 |

<第53回千葉県美術展覧会作品>

- | | | | |
|---|--------|--------|------|
| 1 | 宮崎 浩行 | 静物2001 | 2001 |
| 2 | 山本 ゆりこ | 俟つ | 〃 |

アジアの民俗画展

会 期 平成14年3月12日(火)～3月24日(日) 12日間
 会 場 第6展示室
 展示点数 50点
 入場者数 3,592人
 主 催 千葉県立美術館/アジア記者会

ベトナムの絹絵、インドの細密画などを展示し、アジアの国々の伝統的な民俗芸術の一端を紹介した。併せて、アジア・コレクション「幕張大賞」の受賞作品の一部も展示した。

■ベトナム

1	ブー・チー	ハート	1994	紙・インク
2	"	サーカス	"	"
3	"	悲しい運命	"	"
4	ハー・ミー・リー	ハノイ街景	1995	紙・水彩
5	リン・チー	縫物	1970	絹・水彩
6	"	女性像	不詳	"
7	レー・ヴァン・デー	女性像	1954	"
8	ルー・トン・ダオ	夏山	不詳	紙・水彩
9	"	潔香	"	"
10	"	潔香	"	"
11	マイ・ロン	ミャオ族の女性	"	"
12	グエン・トゥー	農村の朝	1986	絹・水彩
13	グエン・トゥー・ギェム	古典舞踊	1993	紙・グワッシュ
14	グエン・ダン・コアット	蓮の池	1994	絹・水彩
15	"	静物	不詳	"
16	"	髪梳く女	1992	"
17	"	水を飲む女たち	不詳	"
18	ゴー・ディン・デュオン	読書	"	紙・木版
19	"	子供と牛	"	"
20	"	村の小径	"	"
21	ヴォン・ズイ・ビエン	夢	"	絹・水彩
22	作者不詳	月夜	"	"
23	"	卓上の静物	"	キャンバス・水彩
24	"	少女	"	絹・水彩

■インドネシア

1	イ・ワヤン・メンダ	無題(ウブドゥ絵画)	不詳	キャンバス・アクリル
---	-----------	------------	----	------------

■モンゴル

1	ビンバオチール・パーサンスレン	アルタイ五山	2001	紙・アクリル
2	"	大地の暦	"	"
3	"	モンゴルの楽園	2002	"

■中国

1	楊柳青年画		不詳	紙・木版
2	楊家埠年画		"	"
3	鳳翔年画		"	"

■インド

1	インド細密画		不詳	紙・彩色
2	ミティラー画		"	紙・顔料
3	ワルリー画		"	紙・米粉

[特別出品]

■アジア・コレクション「幕張大賞」

1	「幕張大賞」(知事賞)受賞作品	徐睿(中国)	1995
2	「幕張大賞」(知事賞)受賞作品	ヴィク・リム(シンガポール)	1998
3	「幕張大賞」ポスター		

■ 美術講演会

特別展に因んで講演会を実施した。講演会では特別展展覧作品のスライドを交えながら、ヨーロッパにおいてジャポニズムが大流行する背景や、印象派の画家たちに対する影響、アールヌーボーの源泉となりそれがまた日本へ里帰りする歴史的な変遷を、大変分かりやすくお話いただき大変有意義な講演会であった。

●6月23日(土)

「パリの浮世絵師たち

—エッフェル塔三十六景をめぐる—

・阿部信雄氏 (美術評論家)

・参加者数 142名

■ミュージアムコンサート

特別展「ジャポニズム展」の開催中に、「西洋の楽器による日本の旋律」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを7月7日(土)に行った。

エルガー(愛のあいさつ)、サティ(ジムノペディ第1番)などのクラシック曲や、滝廉太郎(花、荒城の月)、佐々木すぐる(月の沙漠)などの日本の調べを演奏し、好評を得た。

●演奏者

本庄篤子(ヴィオリンⅠ) / 荒井直子(ヴィオリンⅡ) / 相馬玉美(ヴィオラ) / 斎藤章一(チェロ) / 中里かほり(司会)

・参加者 190名

■ 実技講座

(1) 陶芸講座

期 日 平成13年5月16日・17日・18日・6月5日・6日・28日

(6日間/講師の指導日数は6日間)

講 師 古瀬 利治氏 (受講者数29人)

内 容 焼成・絵付け・薬掛けなどの行程から用具の取り扱いや陶芸に関する基本的な技法を学習した。

(2) 彫刻講座

期 日 平成13年7月19日・20日・21日・22日・24日・25日・26日・27日・31日・8月1日

(10日間/講師の指導日数は7日間)

講 師 福永 巨氏 (受講者数12人)

内 容 塑造の学習を通して、立体作品の制作行程を理解し、幅広い表現方法を学習した。

(3) 版画講座

期 日 平成13年10月17日・18日・19日・23日・24日・25日・26日・30日・31日・11月1日

(10日間/講師の指導日数は7日間)

講 師 上野 遼氏 (受講者数23人)

内 容 単色・多色版画などの木版画の学習を通して、凸版画の基礎的な技法と版画の幅広い表現方法を学習した。

(4) 金工講座

期 日 平成14年1月24日・25日・26日・29日・30日・31日・2月1日・5日・6日・7日

(10日間/講師の指導日数は7日間)

講 師 小林 正利氏 (受講者数19人)

内 容 銅板レリーフと彫金の制作を通して各種工具の製作から取り扱いと基礎的な技法を学習した。

(5) 篆刻講座

期 日 平成14年2月20日・21日・23日・24日・27日・28日

(6日間/講師の指導日数は4日間)

講 師 細谷 恵志氏 (受講者数24人)

内 容 手軽にできる石材彫刻を通して篆刻の魅力を堪能し、篆刻の基本的な技法を学習した。

■スポーツと美～こどもアートチャレンジ

次代を担うこども達に、スポーツや美術を愛する心を育む機会とするため、千葉県スポーツ振興財団等との連携事業として、県総合運動場内の各種競技施設や周辺環境の素晴らしさを知ってもらうとともに、同会場において写生会及び写生会展を開催した。

写生会当日は、秋晴れの「写生会日和」となり、参加したこども達は、陸上競技場・武道館・体育館等で行われた「第47回千葉県レクリエーション大会」の様子や、けやき並木が美しい運動場内の景色を自由にスケッチをして楽しんだ。

- 写生会 平成13年10月21日(日)
参加校19校
参加者31人
- 写生会展 平成13年11月18日(日)～
12月2日(日)
- 会場 千葉県スポーツ科学総合センター

■学校巡回展

世界の優れた秘術品を鑑賞できる機会を提供するため名画の複製画を巡回展示し、小・中学生の情操のかん養に資することを目的として、実施している。

平成13年度から新たに「出前講座-美術館がやってきた」と題して、香取・海匠地区の小学校4校、中学校3校を開催校とし、希望のあった学校へは美術館職員が出向き「ギャラリートーク」を実施した。

【学校巡回展開催校】

- 多古町立久賀小学校
平成13年10月16日～10月30日(参加者約300人)
『バルビゾン派から後期印象派まで』
- 八日市場市立第一中学校
平成13年11月1日～11月15日(参加者約460人)
『バルビゾン派から後期印象派まで』
- 旭市立中小学校
平成13年11月19日～12月3日(参加者約880人)
『バルビゾン派から後期印象派まで』
- 銚子市立第六中学校
平成13年12月5日～12月19日(参加者約220人)
『バルビゾン派から後期印象派まで』
- 栗源町立栗源中学校
平成13年11月1日～11月15日(参加者約220人)
『ルネッサンスからロマン主義まで』
- 佐原市立佐原小学校
平成13年10月16日～10月30日(参加者約1200人)
『象徴主義から現代まで』
- 銚子市立若宮小学校
平成13年11月1日～11月15日(参加者約280人)
『象徴主義から現代まで』

【ギャラリートーク実施校】

- ◆多古町立久賀小学校
平成13年10月18日(低・高学年として2回実施)
- ◆佐原市立佐原小学校
平成13年10月23日(4/5/6年を対象に3回実施)
- ◆銚子市立若宮小学校
平成13年11月6日(全校生徒を対象に1回)
- ◆栗源町立栗源中学校
平成13年11月8日(3学年を中心に2回実施)
- ◆旭市立中央小学校
平成13年11月22日(5/6年を中心に2回実施)
- ◆銚子市立第六中学校
平成13年12月11日(学年ごとに3回実施)

■1日学芸員体験学習

平成14年度より施行される新指導要領の趣旨を鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施した。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、そして実技1として野外彫刻の点検及び鑑賞をし、それをまとめて発表会を行った。午後からは、実技2として、美術工芸品の壺、掛軸の取扱いと保管の仕方を和室で行った。

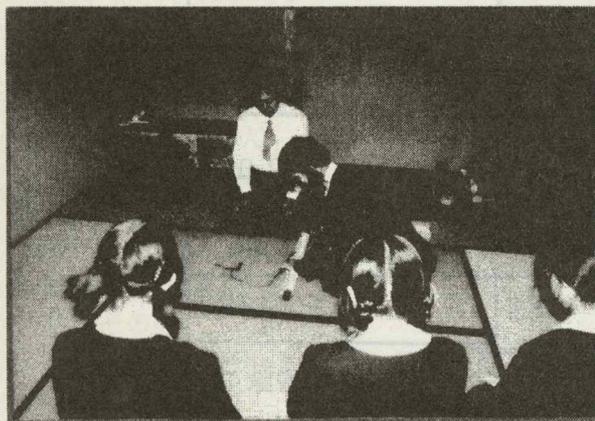
【参加学校】

6月12日	千葉市立蘇我中学校	1年生	8人
6月13日	千葉市立蘇我中学校	1年生	10人
11月7日	千葉市立幕張中学校	1年生	5人
11月15日	市原市立ちはら台南中学校	2年生	8人
11月27日	千葉市立葛城中学校	2年生	4人
	千葉市立幕張中学校	2年生	2人
11月28日	千葉市立幕張中学校	2年生	8人

調べ学習で当館を訪れ、美術館の概要及び学芸員の仕事内容について、インタビュー形式で質疑応答した。

【参加学校】

11月14日	小見川町立小見川中学校	1年生	19人
--------	-------------	-----	-----



■こどもワークショップ

美術館でしか味わえないエネルギーで躍動的な創作体験学習を通して、美術館活動への関心と興味を醸成し、こども達に親しまれる美術館の促進を図るため、こどもワークショップを開催した。

(1) 第1回こどもワークショップ

『美術館のかべにウォールペイントしよう』

期 日	平成13年5月26日 (土)
場 所	美術館野外
参加者数	県内小中学生91人
内 容	長さ200mのロール紙を美術館アトリエ棟の外壁にはりつけ、そのロール紙にこども達が自由にペイントしていく創作体験。

(2) 第2回こどもワークショップ

『発光スチロールオブジェの制作』

期 日	平成13年8月4日 (土)
場 所	第7展示室
参加人数	県内小学校32人
内 容	身近かな素材でもある発泡スチロールを自由に切り取り、作品の中から光をあてて照明オブジェを創作する。

(3) 第3回こどもワークショップ

『リターンオブ発光スチロールオブジェ』

期 日	平成13年9月2日 (日)
場 所	第7展示室
参加人数	県内小学生31人
内 容	第2回ワークショップの応募者で選外者のみを対象にしたもの。内容も第2回と同じもの。

(4) 第4回こどもワークショップ

『オブジェ・デ・かどまつ』

期 日	平成13年12月8日 (土)
場 所	県民アトリエ
参加人数	県内小中学生27人
内 容	従来のかどまつにとられないオブジェ的発想のかどまつを制作し日本の風習にもふれながら、日本の伝統の素晴らしさを体験。

■情報資料室

毎週火～金曜日12時30分～4時30分、土・日曜日、祝日は9時～4時30分に開室し、県民の方々の美術情報資料（図書、雑誌、図録、新聞等）の利用に供した。

また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報誌等により、美術情報を提供した。

なお、13年度の収蔵図書については45冊を購入し、137冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

分類別図書数

区 分	平成12年度まで	平成13年度	計
美術総記	1,737	69	1,806
絵画	1,580	50	1,630
彫刻	263	9	272
工芸	393	5	398
書	175	4	179
版画	148	5	153
デザイン・建築	91	0	91
写真・映像	195	4	199
その他	50	0	50
雑誌（合冊・復刻）	357	1	358
一般図書	513	35	548
合計	5,502	182	5,684

区 分	平成12年度まで	平成13年度	計
購入図書	2,966	45	3,011
寄贈図書	2,536	137	2,673
合計	5,502	182	5,684

（展覧会図録を除く）

■美術めぐりの旅

県内各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

11月21日(水)日帰り

—安房地域の歴史を歩く—

安房博物館、館山市立博物館本館・分館、石堂寺

参加者数 44人

■活動協力

□千葉県立美術館友の会

1. 目的

”みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で、教養を豊かにし、美術文化の向上をはかり会員相互の親睦を深める。

2. 組織

(1) 会員数 個人会員460人 賛助会員2人

(2) 役員 名誉会員10人 会長1人 副会長3人
監事2人 理事若干名

3. 事業

(1) 友の会だより「しおさい」の発行、年4回。各1000部印刷し、会員に配付した。

(2) 第26回葉美会展の開催
会期/平成13年9月4日(火)～9日(日)
出品者50人 展示点数84点

(3) 秋の美術鑑賞の旅

美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深めるために実施した。

1・日時 10月16日(火)

2・行先 井の頭自然文化園
国立科学博物館附属自然教育園
東京都庭園美術館

3・参加者数 44人

(4) 館事業への協力

館に協力して、特別展等の図録販売・実技講座の開催のほか、講演会など県民アトリエ事業に積極的に参加した。

(5) その他

テレホンカード・絵葉書・額縁・額絵・図書等の販売

4. 平成13年度 友の会実技講座

洋画入門講座(1)

期 日 5/2(水) 4(金) 8(火)
10(木) 20(日) 24(木) (6日間)
講 師 根岸茂行氏 受講者数 30人

洋画入門講座(2)

期 日 5/30(水) 31(木) 6/7(木) 8(金)
13(水) 14(木) (6日間)

講 師 羽生智樹氏 受講者数 31人

洋画入門講座(3)

期 日 7/3(火) 5(木) 6(金) (3日間)

講 師 根岸茂行氏 受講者数 29人

洋画入門講座(4)

期 日 7/10(火) 12(木) 19(木) (3日間)

講 師 根岸茂行氏 受講者数 24人

洋画入門講座(5)

期 日 8/18(土) 19(日) 21(火)
22(水) 24(金) 25(土) (6日間)

講 師 池田敏男氏 受講者数 27人

洋画入門講座(6)

期 日 8/29(水) 30(木) 31(金) (3日間)

講 師 松沢茂雄氏 受講者数 31人

洋画入門講座(7)

期 日 9/5(水) 6(木) 7(金) (3日間)

講 師 松沢茂雄氏 受講者数 32人

洋画入門講座(8)

期 日 9/12(水) 13(木) 14(金) (3日間)

講 師 松沢茂雄氏 受講者数 34人

洋画入門講座(9)

期 日 11/8(木) 15(木) 16(金)
27(火) 29(木) 12/1(土) (6日間)

講 師 根岸茂行氏 受講者数 36人

日本画入門講座

期 日 9/5(水) 6(木) 7(金)
12(水) 13(木) 14(金) (6日間)

講 師 斉藤 惇氏 受講者数 21人

デッサン入門講座(1)

期 日 7/31(火) 8/1(水) 2(木)
7(火) 8(水) 9(木) (6日間)

講 師 御園正男氏 受講者数 17人

デッサン入門講座(2)

期 日 2/24(日) 26(火) 28(木) (3日間)

講 師 根岸茂行氏 受講者数 30人

デッサン入門講座(3)

期 日 3/3(日) 5(火) 7(木) (3日間)

講 師 根岸茂行氏 受講者数 33人

□博物館実習

各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を次のとおり受け入れた。

平成13年8月1日(水)～8月7日(火)

(日曜日を除く6日間)

学習院大学2人、千葉大学1人、都留文科大学1人、東海女子大学1人、東京工芸大学1人、道都大学1人、明治学院大学1人 (7大学、8人)

■ さわやかちば県民プラザ
との連携事業

親子で楽しく参加できる事業「親子で楽習博物館大探検」の中の事業でテーマは「おもしろ美術館」である。美術館を実際に体験して楽しむ企画内容である。

・ガイダンス(美術館概要)

・特別展「ジャポニスム展」

鑑賞

・発泡スチロールを使用したワークショップ

「発光スチロールオブジェ」の制作

7月14日

参加者 親子26人

■ 神崎青年の家との連携事業

テーマ

「チャレンジ・ザ 陶芸」

神崎青年の家の陶芸教室参加者による事業。

美術館での「企画展一炎の造形」の鑑賞と神崎青年の家での陶芸家の実技指導を実施した。

9月1日

「企画展一炎の造形」鑑賞

11月17日～18日

陶芸家の指導

参加者 52人

■ ポートパークワンダー
フリーマーケット関連事業

千葉ポートパーク内の施設の一層の利用促進を図るための集客重視型事業。

「段ボール・・・くんで?・つないで?

モニュメント」

のテーマのもと段ボールを用いたオブジェの制作を実施した。

11月18日 参加者 80人

■ 県民の日関連事業
(わくわく県民まつり)

6月9日、10日の2日間、幕張メッセ国際展示場において美術館の企画展、特別展のチラシ、ポスター等を配布し美術館事業の紹介をした。

■ 生涯学習フェスティバル関連
事業

11月24日

11月25日

幕張メッセ国際展示場において、楽しく描け、飾れるツリーの制作を実施した。

調査・収集事業

展覧会や資料収集等に関して、調査研究を進めた。資料収集については、日本画4点、洋画17点、彫刻1点、工芸3点、版画1点、研究資料3点を収蔵した。

実施機関	実施期間	実施内容	収蔵品
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点
京都府立総合資料館	11月10日～11月11日	「チャレンジャー展」開演 神崎青年の家での調査研究参加 東京 美術館で「企画展」の一環として と神崎青年の家での調査研究の 実施した。 8月10日 企画展「一歩の先へ」開演 11月17日～18日 陶芸家の指導 参加者 52人	日本画4点 洋画17点 彫刻1点 工芸3点 版画1点 研究資料3点

■収蔵資料数一覧（平成14年3月31日現在）

種別	受入方法			合計
	購入	寄附	保管換	
日本画	128	158	25	311
洋画	352	445	42	839
彫刻	83	25	11	119
工芸	149	128	10	287
書	110	122	14	246
版画	175	76	5	256
合計	997	954	107	2,058

研究資料	244	1,246	53	1,543
------	-----	-------	----	-------

■収蔵資料一覧

- [凡例] ・No.、作家名、作品名、制作年、材質・技法、寸法の順に記載した。
 ・作品寸法の単位はcmで、平面作品の場合は縦×横、立体作品の場合は高×幅×奥行で示した。
 ・丸数字の作品は購入、それ以外は寄附を表す。

〈日本画〉

1	時田直善	崖の観音	1965	紙・着彩	215.8×168.0
2	時田直善	貝採り	1978	紙・着彩	181.7×182.0
3	時田直善	耀庭	1979	紙・着彩	130.4×162.1
4	時田直善	憩い／鴛その6	1987	紙・着彩	130.1×179.8

〈洋画〉

①	黒田重太郎	街風景	1907	紙・水彩	25.0×32.0
2	櫻田精一	池畔行秋	1981	キャンバス・油彩	130.4×162.3
3	櫻田精一	山河あり	1987	キャンバス・油彩	130.0×194.3
4	櫻田精一	水温む河岸	1992	キャンバス・油彩	131.0×194.3
5	櫻田精一	冬沼	1994	キャンバス・油彩	130.5×162.0
6	櫻田精一	秋霖の頃	1996	キャンバス・油彩	130.5×194.0
7	塩水流功	お風呂わかしておくよ	1974	キャンバス・油彩	130.5×162.0
8	塩水流功	みんなおいで!	1996	キャンバス・油彩	72.8×100.0
⑨	田中善之助	日傘	1907頃	紙・水彩	28.3×39.2
10	中山爾郎	雲と水と北の国	1977	キャンバス・油彩	130.5×162.0
11	中山爾郎	風渡る	1978	キャンバス・油彩	112.0×162.0
12	中山爾郎	フロイエンの丘	1988	キャンバス・油彩	91.0×116.5
⑬	中山爾郎	秋装の群落	1988	キャンバス・油彩	91.0×116.8
14	山倉克己	降雪	1954	紙・水彩	78.0×108.0
15	山倉克己	田園弥生	1982	紙・水彩	112.0×162.0
16	和田清	南房江見海岸	1970	キャンバス・油彩	32.1×40.9
17	和田清	赤燈台のある風景	不詳	キャンバス・油彩	32.0×41.1

〈彫刻〉

1	大須賀力	画家T. E氏	2000	ブロンズ	41.3×21.4×23.3
---	------	---------	------	------	----------------

〈工芸〉

1	高浜かの子	メロディー	1985	桐塑	(右)8.8×9.8×13.1 (左)8.8×14.5×18.5
2	高浜かの子	おねだり	1986頃	紙塑	12.8×14.5×18.5
3	中村董一	あこがれ	1960	銅・鍛金	60.8×91.0

〈版画〉

1	女子美術大学創立100周年記念版画集『徳の華』	2000	紙・石版	各38.0×56.0
---	-------------------------	------	------	------------

〈研究資料〉

1	若木山	干支色紙	不詳	紙・着彩	27.2×24.1
2	若木山	団扇	不詳	紙・着彩	(大10点)23.7×38.5 (小23点)28.4×41.0
3	若木山	扇子	不詳	紙・着彩	23.5×36.5

管 理 運 営

本館では県民のための開かれた明るい美術館をめざし“みる・かたる・つくる”をモットーとして、総合的・活動的な美の広場を目標として展示・普及活動を行っている。協議会では、美術館の運営について諮問を行った。

運 営 方 針

県民のための美術館として、明るい親しまれる美術館。

学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館。

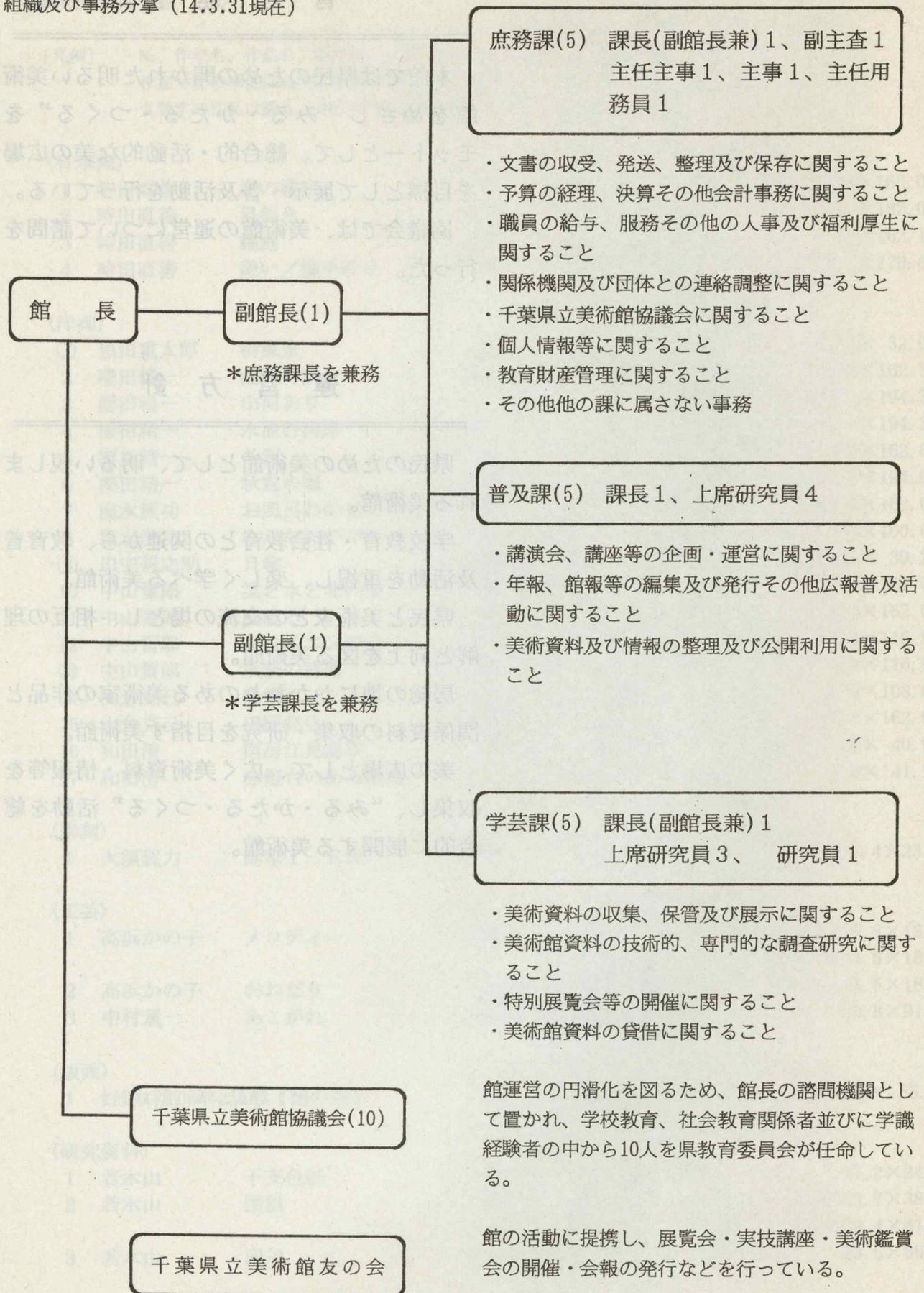
県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館。

房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係資料の収集・研究を目指す美術館。

美の広場として、広く美術資料・情報等を収集し、“みる・かたる・つくる”活動を総合的に展開する美術館。

■ 機 構

組織及び事務分掌 (14.3.31現在)



■ 平成13年度職員

■ 県立美術館協議会委員 (順不同)

館長	中村 哲	川津 幸枝	全日本書芸文化院常任理事
副館長 兼庶務課長	山口 壽一	加曾利 和夫	千葉県立美術館友の会事務局長
副館長 兼学芸課長	藤川 正司	門倉 武夫	東京国立文化財研究所名誉研究員
庶務課		秋田 敏彰	日本放送協会千葉放送局長
副主査(派)	石井 弘美	白石 靖	千葉県高等学校文化連盟事務局長
主任主事(〃)	奈良輪 和美	高村 照夫	前千葉県教育研究会造形部会長
主事(〃)	松嶋 美香子	積田勝雄(鯉士)	千葉県美術会会長
主任用務員(〃)	長島 則子	中村 千鶴子	千葉県社会教育委員
普及課		西村 美和子	千葉県経営者協会 地域経済委員会委員
普及課長	志田 光	能條 正敏	前千葉県高等学校教育研究会 美術工芸部会長
上席研究員(派)	黒川 利也		
〃(〃)	田村 俊雄		
〃(〃)	丸山 徳日子		
〃(〃)	山崎 京子		
学芸課			
上席研究員(派)	濱松 繁雄		
〃(〃)	相川 順子		
〃(〃)	幅 大		
研究員(〃)	石崎 千津子		
囑託	野村 吉治		

通音語入限減

種別	品名	数量	単価	金額	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

■ 利用状況

入館者数一覧 (平成13年度)

種別 月	開館 日数	個 人			団 体						人 数 合 計
		一般 成人	大・ 高生	中・ 小生	一般成人		大・高生		中・小生		
					人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	
4	26	5,463	112	323	110	2	0	0	0	0	6,008
5	26	11,123	123	831	0	0	37	1	0	0	12,114
6	26	10,583	698	2,784	459	13	72	2	185	4	14,781
7	26	9,799	562	2,090	357	11	52	1	61	2	12,921
8	27	9,120	315	3,326	165	4	0	0	97	3	13,023
9	26	9,169	422	2,076	331	8	0	0	320	7	12,318
10	21	15,972	537	1,154	263	8	200	1	32	1	18,158
11	25	11,167	822	1,059	332	10	0	0	23	1	13,403
12	21	17,379	159	8,436	190	6	0	0	244	4	26,408
1	23	7,863	344	566	63	2	0	0	182	2	9,018
2	24	9,328	447	3,120	285	6	0	0	424	3	13,604
3	27	12,085	540	945	114	4	45	1	195	2	13,924
計	298	129,051	5,081	26,710	2,669	74	406	6	1,763	29	165,680

開館以来 総開館日数 8,023 日

総入館者数 4,660,070 人

地域別入館者数

種別 月	開館 日数	県 内		県 外		外 国	合 計
		千葉市	その他	東京都	その他		
4	26	2,701	2,527	241	537	2	6,008
5	26	6,380	5,533	75	89	37	12,114
6	26	5,346	7,373	689	1,358	15	14,781
7	26	5,441	6,744	213	514	9	12,921
8	27	5,738	6,397	230	647	11	13,023
9	26	5,434	6,043	269	568	4	12,318
10	21	6,951	9,028	1,007	1,149	23	18,158
11	25	5,081	7,380	521	415	6	13,403
12	21	6,579	19,135	307	380	7	26,408
1	23	4,197	4,176	337	298	10	9,018
2	24	6,301	6,456	330	513	4	13,604
3	27	6,236	6,591	321	771	5	13,924
計	298	66,385	87,383	4,540	7,239	133	165,680

■展示室利用団体

太字は県芸術フェスティバル事業

	展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1	第25回鳳聲会書作展	4/10~15	書	90
2	第71回郷陽会展	4/10~15	洋画	231
3	第15回ガラス絵コクリコ会展	4/10~15	ガラス絵	102
4	MUSABI展	4/24~30	日本画・洋画	48
5	第28回千葉新協展	4/24~30	洋画	138
6	第27回歩会彫刻展	4/24~5/6	彫刻	38
7	表美展	5/2~6	表装・額装・屏風	121
8	第15回カラーダスト展	5/2~6	洋画	51
9	第15回千葉水彩展	5/8~13	洋画	90
10	第12回千葉県木彫会展	5/8~13	彫刻	65
11	第25回墨の県展	5/15~20	水墨画・洋画・写真・その他	349
12	第41回千葉アマチュア美術会展	5/22~27	日本画・洋画・書・工芸その他	1463
13	第46回二科会千葉支部展	5/29~6/3	洋画	745
14	第27回獏展	5/29~6/3	日本画・洋画・彫刻・工芸・写真	49
15	第48回千葉県書道協会展	6/5~10	書	550
16	第28回千虹会日本画展	6/5~17	日本画	40
17	第26回関東全展	6/12~17	日本画・洋画・工芸	152
18	千葉幼児美術展	6/12~17	絵画他	1300
19	第23回新槐樹社千葉県支部展	6/19~24	洋画・彫塑	53
20	第24回千葉一陽展	6/19~24	洋画	145
21	第16回日本画四季展	6/19~7/1	日本画	57
22	第45回千葉県小中学校書写展	6/26~7/1	書	1100
23	(明日を拓く)教育美術展	6/26~7/1	洋画・立体	10000
24	精鋭展	6/26~7/1	洋画	120
25	第29回水彩連盟千葉支部展	7/3~8	洋画	61
26	第46回千葉二紀会展	7/3~8	洋画	93
27	第106回習美会初夏大作展	7/10~15	日本画・洋画・その他	224
28	第17回日本水彩画会千葉県支部展	7/10~15	洋画	80
29	第35回漱雲会全国書道展	7/10~15	書	426
30	第33回千葉市水墨画同好会連合会展	7/17~29	水墨画	394
31	第30回写真千葉県展	7/31~8/12	写真	380
32	第11回太平洋美術会千葉支部展	7/31~8/5	洋画・彫刻・工芸	188
33	日本武道館武道学園書道展	7/31~8/5	書	111
34	第一美術協会千葉県支部展	8/7~12	洋画・工芸	121
35	第15回白亜美術協会千葉支部展	8/7~12	洋画	44
36	第31回いてふ会彫刻展	8/14~26	彫刻	43
37	第21回日本春秋書院千葉書道展	8/21~26	書	108
38	第18回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/21~26	絵画	684
39	第39回新世紀美術協会千葉支部展	8/28~9/2	彫刻	75
40	第31回新構造千葉支部展	8/28~9/2	洋画・彫刻・工芸・写真	119
41	第30回千葉硯心会書展	8/28~9/2	書	60
42	第24回等迦会千葉県支部展	9/4~9	洋画	55
43	第34回千葉県高校芸術祭「合同写真展」	9/4~9	写真	552
44	葉美会展	9/4~9	日本画・洋画・写真	84
45	第41回白扇書道会展	9/11~16	書	3023
46	第33回ファンシー洋画展	9/18~24	洋画	67
47	第18回中央美術協会千葉支部展	9/18~24	日本画・洋画	201
48	第24回千葉県写真展	9/18~30	写真	180
49	第51回デザインフェスタCHIBA展	9/26~30	デザイン	152
50	第48回千葉県勤労者美術展	9/26~30	洋画・書・写真	203
51	第12回千葉県教育芸術祭	10/2~8	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真他	896
52	第21回二科会写真部千葉支部展	10/2~8	写真	51
53	第53回千葉県美術展覧会(県展)	10/13~11/4	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2841
54	千葉県高校芸術祭「美術工芸書道作品展」	11/7~18	洋画・彫刻・デザイン・工芸・書・他	2832
55	第33回千葉現展	11/20~25	日本画・洋画・デザイン・工芸・写真	70

56	第28回文化書道千葉県連合会公募展	11/20~25	書	382
57	ダネヲ展	11/20~25	工芸	50
58	第46回こども県展	11/27~12/9	絵画	8979
59	第28回富士百景写真展	1/8~14	写真	65
60	第37回登龍社書初展	1/8~14	書	316
61	第19回千葉県医師会美術展	1/22~27	日本画・洋画・彫刻・写真・工芸・書	131
62	千葉日報書道展	1/29~2/3	書	544
63	群鳴書人展	2/5~11	書	71
64	第17回書星選抜展	2/5~11	書	266
65	第54回千葉県小中高校書き初め展	2/5~11	書	688
66	千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/13~17	洋画・彫刻・デザイン・工芸・立体	55
67	千葉大学教育学部第36回学生書道展	2/13~17	書	158
68	千葉県立幕張総合高校書道展	2/13~17	書	155
69	第31回千葉県大学美術連盟展	2/19~24	日本画・洋画・工芸・書・写真	70
70	子ども造形展	2/19~24	絵画・彫刻・デザイン・立体	2000
71	平成13年度文化作品展	2/19~24	日本画・洋画・工芸・書・写真	158
72	第13回日本童謡の書展	2/26~3/3	書	2077
73	第7回翔洋展	3/5~10	洋画	46
74	第27回千葉県民写真展	3/5~10	写真	638
75	和洋女子大学卒業展	3/5~10	書	48
76	第5回平成美術会展	3/12~17	洋画	81
77	第25回唱和会書展	3/12~17	書	218
78	第49回書星教育部展	3/19~24	書	546

施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイル-先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、・器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防ぎ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートをを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面相度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふとところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株)竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業(株)

衛生＝第一管工事(株)

電気＝関東電気工事(株)

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87 m ²
建築面積	8,777.94 m ²
延床面積	10,663.57 m ²
展示棟	6,343.02 m ²
管理棟	2,818.89 m ²
県民アトリエ棟	1,501.66 m ²
駐車台数	97台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事 (展示棟) 5,194.59 m²
(建築面積 5,102.35 m²)

○工期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967 千円
 本体工事 425,230 千円
 電気設備工事 79,663 千円
 空調設備工事 166,493 千円
 給排水衛生設備工事 28,995 千円
 外溝工事 67,705 千円
 ガス工事 7,881 千円

(2) 第2期工事 (管理棟) 2,274.60 m²
(建築面積 1,089.50 m²)

○工期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800 千円
 本体工事 307,500 千円
 電気設備工事 30,000 千円
 空調設備工事 79,000 千円
 給排水衛生設備工事 19,514 千円
 外溝工事 17,786 千円

(3) 第3期工事 (県民アトリエ) 1,501.66 m²
(建築面積 1,449.34 m²)

○工期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000 千円
 本体工事 265,300 千円
 電気設備工事 35,000 千円
 空調設備工事 56,200 千円
 給排水衛生設備工事 13,500 千円

○工期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000 千円
 外構工事 8,000 千円

(4) 第4期工事 (第8展示室 1,148.43 m²
 収蔵庫 544.29 m²) 1,692.72 m²
(建築面積 1,136.75 m²)

○工期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500 千円
 本体工事 476,000 千円
 電気設備工事 81,000 千円
 空調設備工事 171,000 千円
 給排水衛生設備工事 19,500 千円
 総工事費 2,355,267 千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL - 5.00m

高さ：GL + 15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋根：鉄骨造

主鋼材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート (基礎・地中梁・1階スラブ)

Fc = 210kg / c m²

B種・軽量コンクリート (梁・スラブ用・地上部)

Fc = 300kg / c m²

C種・軽量コンクリート (地上部躯体でAB以外の梁・壁

など) Fc = 240kg / c m²

【設備】

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式 6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟 = CAV (定風量型) + VAV (可変風量型) 方式

管理棟 = VAV 方式

保管庫 = 露点再熱制御方式

県民アトリエ棟 = 各室ハンドリング方式

熱源：空気熱源スクリーン熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給水：ポンプ圧送方式、引込み管径 75mm

排水：汚水・雑排水合流方式系統 (管径 300)、雨水系統 (管径 300) 別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙 (第1、2、7展示室)

消化方式：屋外・屋内消化栓、不燃性ガス消化設備 (ハロゲン 1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力 100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規模：容量 3,000kg

カゴ内法 = 3,000mm × 3,000mm × 3,000mm

速度 30m / min

展示棟

玄関ホール	102.40㎡
ク口一ク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室(新)	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E.V機械室	27.28㎡
E.V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡

計 ① 6,343.02㎡

管理棟

(1階)

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱人室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡
小計	1,183.85㎡

(2階)

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E.V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
// B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクトスペースその他	3.56㎡

小計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

県民アトリエ棟

1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡
計 ③	1,501.66㎡

合計 10,663.57㎡

(①+②+③)

<参考>

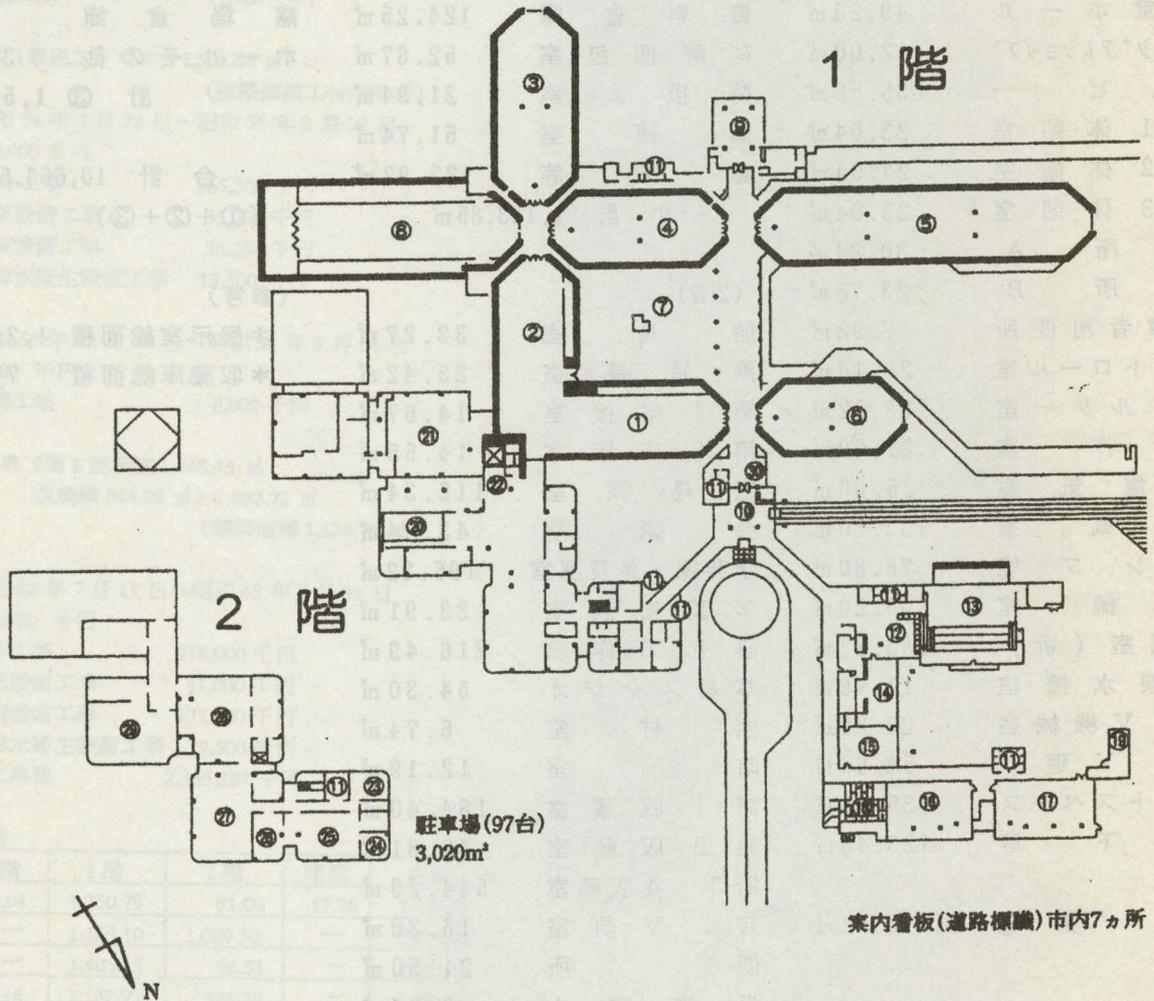
*展示室総面積 4,296.30㎡

*収蔵庫総面積 771.50㎡

内容

- ①～⑧ 展示室
- ⑨ 食堂 (44席)
- ⑩ 玄関ホール
- ⑪ トイレ
- 男子用6ヶ所
- 女子用6ヶ所
- 身障者用2ヶ所
- ⑫ ホール
- ⑬ 講堂 (200人)
- ⑭ 情報資料室
- 火～金
- 12:30～16:30
- 土・日・祝日
- 9:00～16:30
- ⑮ 研修室 (40人)

- ⑯～⑲ 実技室
- ⑲ 窯場
- ⑳ 搬出入口
- ㉑ 機械室
- ㉒ エレベーター
- ㉓ 館長室
- ㉔ 副館長室
- ㉕ 庶務課
- ㉖ 会議室
- ㉗ 学芸課・普及課
- ㉘ 研究工作室
- ㉙ 収蔵庫
- ㉚ ミュージアムショップ



関係法令等

1 博物館管理規則

昭和45年千葉県教育委員会規則第22号

(目的)

第1条 この規則は、教育機関設置条(昭和32年千葉県条例第4号)第20条に規定する博物館(以下「館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 館の休館日は、次のとおりとする。

一 定期休館日 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する日に当たるときは、その翌日)

二 国民の祝日に関する法律に規定する休日

三 年始休館日 1月1日から1月4日まで

四 年末休館日 12月26日から12月31日まで

五 臨時休館日 特別の事情により、館長が休館を必要と認めたる日

2 前項の休館日であっても、館長が特に必要と認めたる場合は、館の全部又は一部を開館することができる。

(入館の制限)

第4条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

一 特別展覧会又は現代産業科学館の映像ホールを観覧しようとする者で、所定の観覧券を所持しない者

二 適当な指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

三 泥酔者、伝染病患者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

(観覧券等)

第5条 館の特別展覧会観覧券は、別記第1号様式とする。

2 現代産業科学館の映像ホール観覧券は、別記第2号様式とする。

3 団体(20人以上の場合をいう。)で観覧しようとするときは、あらかじめ団体観覧申込書(別記第3号様式)により、館長に申し込まなければならない。

(禁止行為)

第6条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

一 展示品に手をふれること及び展示室でインク、墨汁類を使用すること。

二 許可なくして展示品を模写し、又は撮影すること。

三 所定の場所以外の場所において喫煙又は飲食すること。

四 その他他の入館者の妨げになるような行為をすること。

(損害の賠償)

第7条 館長は、入館者が館の展示品、建物若しくは備品等をき損し、又は汚損したときは、現品又は相当の代価をもって弁償させることがある。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長の承認を得て、館長が定める。

附則

この規則は、昭和46年1月15日から施行する。

別記様式(省略)

2 使用料及び手数料条例(抜粋)

昭和31年千葉県条例第6号

(趣旨)

第1条 県が徴収する使用料及び手数料(以下「使用料等」という。)に関しては、別に規定するもののほか、この条例の定めるところによる。

(使用料等の徴収)

第2条 県が所有し、又は管理する行政財産及び公の施設(以下「財産等」という。)の使用並びに特定の個人のためにする事務(以下「事務」という。)に関し、法令及び他の条例に規定するもののほか、当該財産等を使用しようとする者から使用料を、当該事務を依頼しようとする者から手数料を徴収するものとする。

(種類及び額)

第3条 前条の規定により使用料等を徴収する財産等及び事務の種類並びにその使用料等の額は、別表第一に掲げるとおりとする。

(中略)

(徴収の特例)

第8条の2 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)に規定する県民の日その他規則で定める場合において、県の設置した公の施設で、規則で定めるものに係る使用料については、第2条及び第3条の規定にかかわらず、これを徴収しない。

別表第一(抜粋)

財産又は事務の種類	使用料等	区分	単位	額
博物館	入場料	特別	1人1回につき	1,000円以内
		展覧会		

(以下省略)

3 使用料及び手数料条例施行規則(抜粋)

昭和31年千葉県規則第29号

(徴収の特例)

第9条 条例第8条の2の規定による規則で定める場合及び規則で定めるものは、別表第三のとおりとする。

別表第三(抜粋)

行 事 等	施 設
県民の日(6月15日)	博 物 館
65歳以上の者、身体障害者 (介護者を含む。)	
又は知的障害者が使用する場合	

利用案内

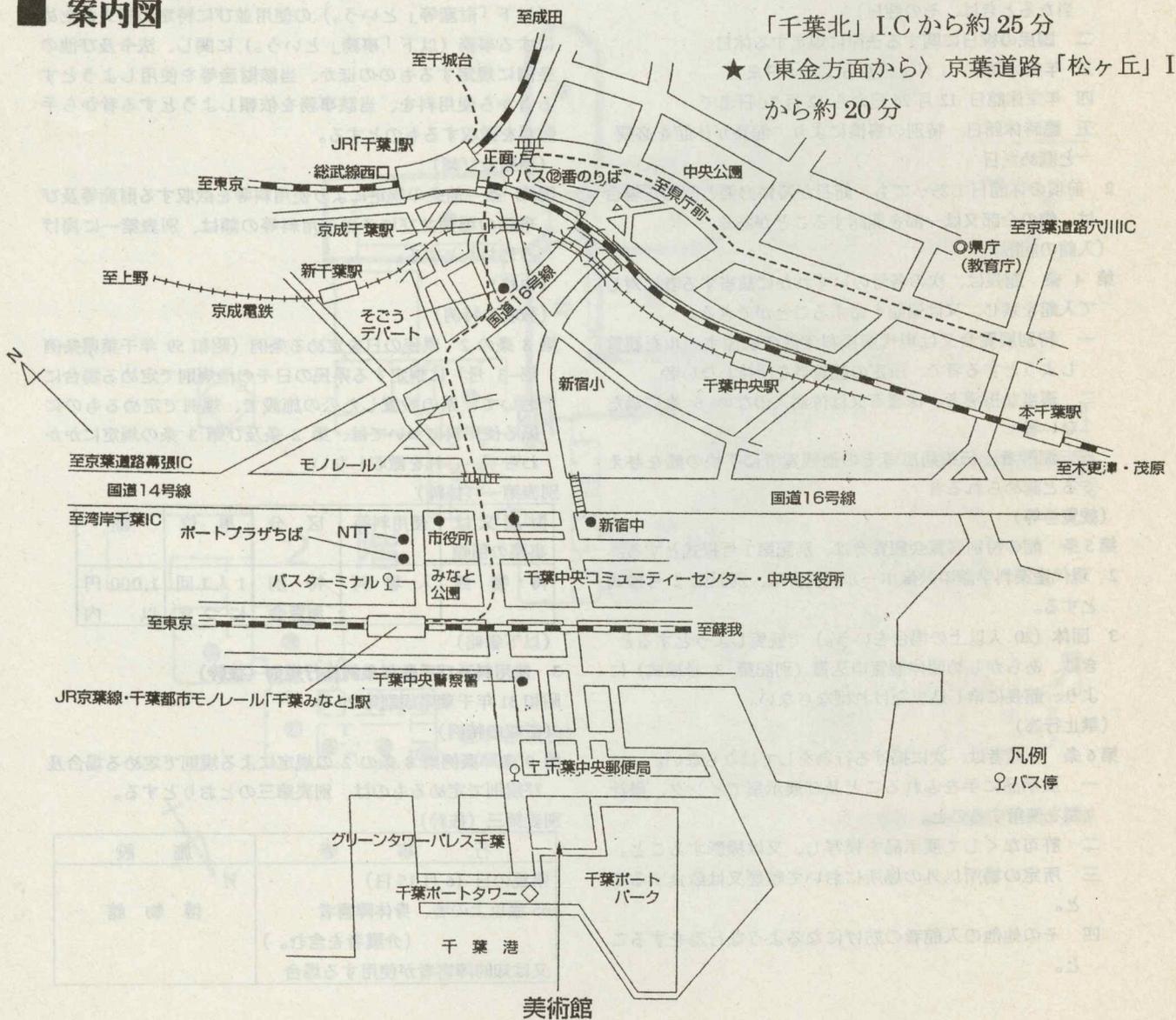
■ 開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分まで
 休館日 ・月曜日（ただし、月曜が祝日のときは開館し、翌日休館）
 ・年末年始（12月26日～1月4日）
 ・展示替え等のため、必要があるとき。
 観覧料 無料（ただし、特別展は有料）

■ 交通

- ★ JR 京葉線・千葉都市モノレール「千葉みなと」駅下車、徒歩8分。
- ★ JR 総武線「千葉」駅
京成線「京成千葉」駅下車
●徒歩23分。
●バス⑫番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。
「美術館・中央郵便局前」下車、徒歩1分。
- ★ 〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分
- ★ 〈成田方面から〉東関東自動車道「千葉北」I.Cから約25分
- ★ 〈東金方面から〉京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分

■ 案内図



平成13年度 千葉県立美術館年報 (No.28)

平成14年9月1日発行

発行者 千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

T E L 043 (242) 8311

U R L <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/index.htm>

利用案内

観覧時間

開館時間 午前9時から午後4時30分まで。
休館日 月曜日（ただし、月曜が祝日のときは繰越し、翌日休館）
※年末年始（12月25日～1月4日）
観覧禁止等のため、必要があるとき。

観覧料 無料（ただし、特別展は有料）

観覧案内



〒260-0081 千葉県千葉市中央区中央1-10-10 千葉市立美術館 (No.28)

平成14年9月1日発行

発行所 千葉県立美術館

〒260-0081 千葉県千葉市中央区中央1-10-10 千葉市立美術館

T E L 043 (242) 8311

F A X 043 (242) 8311

<http://www.chiba-muse.or.jp/NAKT/index.htm>

千葉市立美術館

